

# 狭山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

## 図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
M-0 1	機械設備工事特記仕様書-1		M-1 4	制御リスト		E-0 1	電気設備工事特記仕様書-1	
M-0 2	機械設備工事特記仕様書-2		M-1 5	自動制御系統図		E-0 2	電気設備工事特記仕様書-2	
M-0 3	機械設備工事特記仕様書-3		M-1 6	自動制御系統図・機器表	1:200	E-0 3	分電盤接続図	
M-0 4	仮説図・配管図・案内図	1:200	M-1 7	自動制御中央管理点出入力一覧表	1:50	E-0 4	改修前・後 空調電源設備1階平面図	1:100
M-0 5	改修後 空調機器表		M-1 8	改修前・後 自動制御1階平面図	1:100	E-0 5	改修前・後 空調電源設備2階平面図	1:100
M-0 6	改修後 空調設備配管系統図		M-1 9	改修前・後 自動制御2階平面図	1:100			
M-0 7	改修後 空調設備配管1階平面図	1:100	M-2 0	改修前・後 1階天井図	1:100			
M-0 8	改修後 空調設備配管2階平面図	1:100	M-2 1	改修前・後 2階天井図	1:100			
M-0 9	改修前・後 空調設備詳細図	1:50						
M-1 0	改修前 空調機器表							
M-1 1	改修前 空調設備配管系統図							
M-1 2	改修前 空調設備配管1階平面図	1:100						
M-1 3	改修前 空調設備配管2階平面図	1:100						



● 空気調和設備	(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定する。	<p>(4) F式温風送暖機の撤去・再取付、新規設置について F式温風送暖機の時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に属する「石油機器技術研究所」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃機器保証協会が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付後の双方で行うこと、新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>11 据音装置 12 その他の 1 配管材料 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿廻所の排気ダクト 7 保温 8 試運転調整 9 吹出口及び込込ホックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁類 13 温度計 14 圧力計 15 携行流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔       </p>	(10) 空気熱源ヒートポンプ空調機 標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮式空気動機の制御方式 ※回転制御・オノオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A, R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材は被覆管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埋設グリーン調査推進方針で掲げる成績基準を満たす機器とする。	11 据音装置 12 その他の 1 配管材料 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿廻所の排気ダクト 7 保温 8 試運転調整 9 吹出口及び込込ホックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁類 13 温度計 14 圧力計 15 携行流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔	トイレベースに設置する。 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管 3 溝水試験継手 4 樹の看護	洗面器等に直結する排水管は、器具トップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立管には、各階毎に次の手を設ける。 ・排水口付きソケット ※溝水試験用排水ロソケット 別紙表による。		
	① 設計温湿度			外 気 温湿度(℃) 湿度(%) 温度(℃) 湿度(%) 温度(℃) 湿度(%) 温度(℃) 湿度(%) 夏 37.1°C 47.1% 28°C 9% 35°C 5% 30°C 4% 20°C 5% 35°C 4% 30°C 4% 冬 9.5°C 0.5% 49.4% 20°C 7% 35°C 7% 30°C 7% 20°C 7% 35°C 7% 30°C 7%	※外気温湿度はエアコンの室内設定値は、夏期温度50%とする。					
	② 総合試運転調整			※本工事・別途 風量調整 ※する・しない 水量調整 ※する・しない 騒音の測定 ※する・しない						
	3 煙 過			室内気温及びじんのいの測定 ※する・しない 初期運転状態の記録 ※する・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する・しない						
	4 煙 突			※別途・本工事						
	5 長方形ダクト			※低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の大きさ1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法 ・アンダルフランジ工法 それ以外の部分 ※アンダルフランジ工法 ・高圧1ダクト(亜鉛鉄板製)・高圧2ダクト(亜鉛鉄板製) ・スチールダクト(・A区分・B区分)・ビニルダクト(・A区分・B区分)						
	6 円形ダクト			※スパイラルダクト(※亜鉛鉄板製・スチール製)・硬質塩化ビニル管(VU)・換気用耐火二層管(大臣認定品) ※フレキシブルダクト(・保温付・保温無) (注1) 使用区分は表示する。						
	7 風量測定口			取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入口ダクト						
	8 チャンバー			(1) 鋼板厚 (※3.2mm・4.5mm) (2) はい程度温度 ※する・しない (3) はいじん量測定口 ※設ける(測定口は80cmとする)・設けない						
	9 吹出口及び込込ホックス			※亜鉛鉄板製・グラスウール製						
	10 ダンパー			(1) 防煙ダンパー 復帰方式(※遠隔・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ビストンダンパー 復帰方式(※遠隔・)						
① 配管材料	(1) 冷温水管			※配管用鉄素鋼管(白)・ (2) 冷却水管	※配管用鉄素鋼管(白)・ (3) ブライン管	※配管用鉄素鋼管(白)・ (4) 冷媒管	※断熱材(聚氨酯管)	※JIS S 2449またはJIS G 1115に規定するスチール管とし、継手は一般部材(・直結・ダクト・T字接合)、便所・廊下等は遮離出露管(※折合)とする。		
	(5) ドレン管(屋外)			※温湿度(※温湿度)ガス管 ※20mm・10mm・20mm(※10mm以上) (注5) ドレン管(屋内)	※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) ※温湿度付温水管用ドレン管(ISO/ACI 107/147相当品) ・耐火・耐震管VP(F P D S -1) ・配管用鉄素鋼管(白)・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項: 保全・保温・温水供給付空調用ドレン管は、水压は1.5mを超える配管には使用しない。 (6) 油管	※配管用鉄素鋼管(黒)・ (7) 蒸気管	※配管用鉄素鋼管(黒)・ (8) 強張管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) ※温湿度付温水管用ドレン管(ISO/ACI 107/147相当品) ・耐火・耐震管VP(F P D S -1) ・配管用鉄素鋼管(白)・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項: 保全・保温・温水供給付空調用ドレン管は、水压は1.5mを超える配管には使用しない。 (6) 油管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (8) 強張管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (8) 強張管
	(9) 液体管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (10) 水道管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (11) 排水管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (12) 排煙管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (13) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (14) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (15) 排水用洗浄管	
	(16) 伸縮管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (17) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (18) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (19) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (20) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (21) 排水用洗浄管		
	(22) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (23) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (24) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (25) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (26) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (27) 排水用洗浄管		
	(28) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (29) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (30) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (31) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (32) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (33) 排水用洗浄管		
	(34) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (35) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (36) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (37) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (38) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (39) 排水用洗浄管		
	(40) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (41) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (42) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (43) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (44) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (45) 排水用洗浄管		
	(46) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (47) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (48) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (49) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (50) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (51) 排水用洗浄管		
	(52) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (53) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (54) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (55) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (56) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (57) 排水用洗浄管		
	(58) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (59) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (60) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (61) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (62) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (63) 排水用洗浄管		
	(64) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (65) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (66) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (67) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (68) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (69) 排水用洗浄管		
	(70) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (71) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (72) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (73) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (74) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (75) 排水用洗浄管		
	(76) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (77) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (78) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (79) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (80) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (81) 排水用洗浄管		
	(82) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (83) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (84) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (85) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (86) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (87) 排水用洗浄管		
	(88) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (89) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (90) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (91) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (92) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (93) 排水用洗浄管		
	(94) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (95) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (96) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (97) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (98) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (99) 排水用洗浄管		
	(100) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (101) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (102) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (103) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (104) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (105) 排水用洗浄管		
	(106) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (107) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (108) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (109) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (110) 排水用洗浄管	※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10mm(※10mm以上) ※被覆管付ビニル管VP(カラーブラック)・配管用鉄素鋼管(白) (111) 排水用洗浄管		
	(112) 排水用洗浄管			※温湿度付温水管(※温湿度)※20mm・10						

環境配慮  
(グリーン)改修工事

1 アスベスト処理工事  
一般共通事項

留意事項

1 本工事は、アスベスト含有のそれのある吹付け材、保溫材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3 この工事においては、図面及び別仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官房常設部監修公共建築改修工事標準仕様書（建設工事編）（令和4年版）（以下「改修工事」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

4 7KA付含有吹付け材の撤去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の撤去

・行う　除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた撤去は専門工事業者の仕様とする。

5 7KA付含有保温材等の撤去（レベル2）

アスベスト含有保温材等の撤去

・行う  
作業者の隔離  
・行う  
・行わない  
処理を行う保温材等アスベストの仕様

6 7KA付含有成形板類の撤去（レベル3）

1 アスベスト含有成形板の撤去

・行う  
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

7 非石綿部での切断による除去

・行う  
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

※なお、石綿含有保温材記載については、飛散のおそれを考慮し、一般レベル2の対応を図るものとする。

8 <参考>石綿使用有無の事前調査フロー

9 <参考>非飛散性石綿含有保温材を撤去する時の作業フロー

10 1 成された配管保温材等を剥離のまま取り外しによる除去（レベル2）

成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行ない、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹付け材等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有保温材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に連絡する。

11 <作業フローチャート>

12 <作業フローチャート>

13 <作業フローチャート>

14 <参考図1 設備機器ダクト後部の除去方法

15 <参考図2 配管フランジパッキンの除去方法

16 <参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

17 2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】（レベル3）

建築物のダクトには、接合部に石綿含有物が使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿維維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

3 <作業フローチャート>

4 <参考図1 設備機器ダクト後部の除去方法

5 <参考図2 配管フランジパッキンの除去方法

6 <参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

7 7KA付含有保温材等の撤去

8 9.1.4

9 10.1.5

10 11

11 12

12 13

13 14

14 15

15 16

16 17

17 18

18 19

19 20

20 21

21 22

22 23

23 24

24 25

25 26

26 27

27 28

28 29

29 30

30 31

31 32

32 33

33 34

34 35

35 36

36 37

37 38

38 39

39 40

40 41

41 42

42 43

43 44

44 45

45 46

46 47

47 48

48 49

49 50

50 51

51 52

52 53

53 54

54 55

55 56

56 57

57 58

58 59

59 60

60 61

61 62

62 63

63 64

64 65

65 66

66 67

67 68

68 69

69 70

70 71

71 72

72 73

73 74

74 75

75 76

76 77

77 78

78 79

79 80

80 81

81 82

82 83

83 84

84 85

85 86

86 87

87 88

88 89

89 90

90 91

91 92

92 93

93 94

94 95

95 96

96 97

97 98

98 99

99 100

100 101

101 102

102 103

103 104

104 105

105 106

106 107

107 108

108 109

109 110

110 111

111 112

112 113

113 114

114 115

115 116

116 117

117 118

118 119

119 120

120 121

121 122

122 123

123 124

124 125

125 126

126 127

127 128

128 129

129 130

130 131

131 132

132 133

133 134

134 135

135 136

136 137

137 138

138 139

139 140

140 141

141 142

142 143

143 144

144 145

145 146

146 147

147 148

148 149

149 150

150 151

151 152

152 153

153 154

154 155

155 156

156 157

157 158

158 159

159 160

160 161

161 162

162 163

163 164

164 165

165 166

166 167

167 168

168 169

169 170

170 171

171 172

172 173

173 174

174 175

175 176

176 177

177 178

178 179

179 180

180 181

181 182

182 183

183 184

184 185

185 186

186 187

187 188

188 189

189 190

190 191

191 192

192 193

193 194

194 195

195 196

196 197

197 198

198 199

199 200

200 201

201 202

202 203

203 204

204 205

205 206

206 207

207 208

208 209

209 210

210 211

211 212

212 213

213 214

214 215

215 216

216 217

217 218

218 219

219 220

220 221

221 222

222 223

223 224

224 225

225 226

226 227

227 228

228 229

229 230

230 231

231 232

232 233

233 234

234 235

235 236

236 237

237 238

238 239

239 240

240 241

241 242

242 243

243 244

244 245

245 246

246 247

247 248

248 249

249 250

250 251

251 252

252 253

253 254

254 255

255 256

256 257

257 258

258 259

259 260

260 261

261 262

262 263

263 264

264 265

265 266

266 267

267 268

268 269

269 270

270 271

271 272

272 273

273 274

274 275

275 276

276 277

277 278

278 279

279 280

280 281

281 282

282 283

283 284

284 285

285 286

286 287

287 288

288 289

289 290

290 291

291 292

292 293

293 294

294 295

295 296

296 297

297 298

298 299

299 300

300 301

301 302

302 303

303 304

304 305

305 306

306 307

307 308

308 309

309 310

310 311

311 312

312 313

313 314

314 315

315 316

316 317

317 318

318 319

319 320

320 321

321 322

322 323

323 324

324 325

325 326

326 327

327 328

328 329

329 330

330 331

331 332

332 333

333 334

334 335

335 336

336 337

337 338

338 339

339 340

340 341

341 342

342 343

343 344

344 345

345 346

346 347

347 348

348 349

349 350

350 351

351 352

352 353

353 354

354 355

355 356

356 357

357 358

358 359

359 360

360 361

361 362

362 363

363 364

364 365

365 366

366 367

367 368

368 369

369 370

370 371

371 372

372 373

373 374

374 375

375 376

376 377

377 378

378 379

379 380

380 381

381 382

382 383

383 384

384 385

385 386

386 387

387 388

388 389

389 390

390 391

391 392

392 393

393 394

394 395

395 396

396 397

397 398

398 399

399 400

400 401

401 402

402 403

403 404

404 405

405 406

406 407

407 408

408 409

409 410

410 411

411 412

412 413

413 414

414 415

415 416

416 417

417 418

418 419

419 420

420 421

421 422

422 423

423 424

424 425

425 426

426 427

427 428

428 429

429 430

430 431

431 432

432 433

433 434

434 435

435 436

436 437

437 438

438 439

439 440

440 441

441 442

442 443

443 444

444 445

445 446

446 447

447 448

448 449

449 450

450 451

451 452

452 453

453 454

454 455

455 456

456 457

457 458

458 459

459 460

460 461

461 462

462 463

463 464

464 465

465 466

466 467

467 468

468 469

469 470

470 471

471 472

472 473

473 474

474 475

475 476

476 477

477 478

478 479

479 480

480 481

481 482

482 483

483 484

484 485

485 486

486 487

487 488

488 489

489 490

490 491

491 492

492 493

493 494

494 495

495 496

496 497

497 498

498 499

499 500

500 501

501 502

502 503

503 504

504 505

505 506

506 507

507 508

508 509

509 510

510 511

511 512

512 513

513 514

514 515

515 516

516 517

517 518

518 519

519 520

520 521

521 522

522 523

523 524

524 525

525 526

526 527

527 528

528 529

529 530

530 531

531 532

532 533

533 534

534 535

535 536

536 537

537 538

538 539

539 540

540 541

541 542

542 543

543 544

544 545

545 546

546 547

547 548

548 549

549 550

550 551

551 552

552 553

553 554

554 555

555 556

556 557

557 558

558 559

559 560

560 561

561 562

562 563

563 564

564 565

565 566

566 567

567 568

568 569

569 570

570 571

571 572

572 573

573 574

574 575

575 576

576 577

577 578

578 579

579 580

580 581

581 582

582 583

583 584

584 585

585 586

586 587

587 588

588 589

589 590

590 591

591 592

592 593

593 594

594 595

595 596

596 597

597 598

598 599

599 600

600 601

601 602

602 603

603 604

604 605

605 606

606 607

607 608

608 609

609 610

610 611

611 612

612 613

613 614

614 615

615 616

616 617

617 618

618 619

619 620

620 621

621 622

622 623

623 624

624 625

625 626

626 627

627 628

628 629

629 630

630 631

631 632

632 633

633 634

634 635

635 636

636 637

637 638

638 639

639 640

640 641

641 642

642 643

643 644

644 645

645 646

646 647

647 648

648 649

649 650

650 651

651 652

652 653

653 654

654 655

655 656

656 657

657 658

658 659

659 660

660 661

661 662

662 663

663 664

664 665

665 666

666 667

667 668

668 669

669 670

670 671

671 672

672 673

673 674

674 675

675 676

676 677

677 678

678 679

679 680

680 681

681 682

682 683

683 684

684 685

685 686

686 687

687 688

688 689

689 690

690 691

691 692

692 693

693 694

694 695

695 696

696 697

697 698

698 699

699 700

700 701

701 702

702 703

703 704

704 705

705 706

706 707

707 708

708 709

709 710

710 711

711 712

712 713

713 714

714 715

715 716

716 717

717 718

718 719

719 720

720 721

721 722

722 723

723 724

724 725

725 726

726 727

727 728

728 729

729 730

730 731

731 732

732 733

733 734

734 735

735 736

736 737

737 738

738 739

739 740

740 741

741 742

742 743

743 744

744 745

745 746

746 747

747 748

748 749

749 750

750 751

751 752

752 753

753 754

754 755

755 756

756 757

757 758

758 759

759 760

760 761

761 762

762 763

763 764

764 765

765 766

766 767

767 768

768 769

769 770

770 771

771 772

772 773

773 774

774 775

775 776

776 777

777 778

778 779

779 780

780 781

781 782

782 783

783 784

784 785

785 786

786 787

787 788

788 789

789 790

790 791

791 792

792 793

793 794

794 795

795 796

796 797

797 798

798 799

799 800

800 801

801 802

802 803

803 804

804 805

805 806

806 807

807 808

808 809

809 810

810 811

811 812

812 813

813 814

814 815

815 816

816 817

817 818

818 819

819 820

820 821

821 822

822 823

823 824

824 825

825 826

826 827

827 828

828 829

829 830

830 831

831 832

832 833

833 834

834 835

835 836

836 837

837 838

838 839

839 840

840 841

841 842

842 843

843 844

844 845

845 846

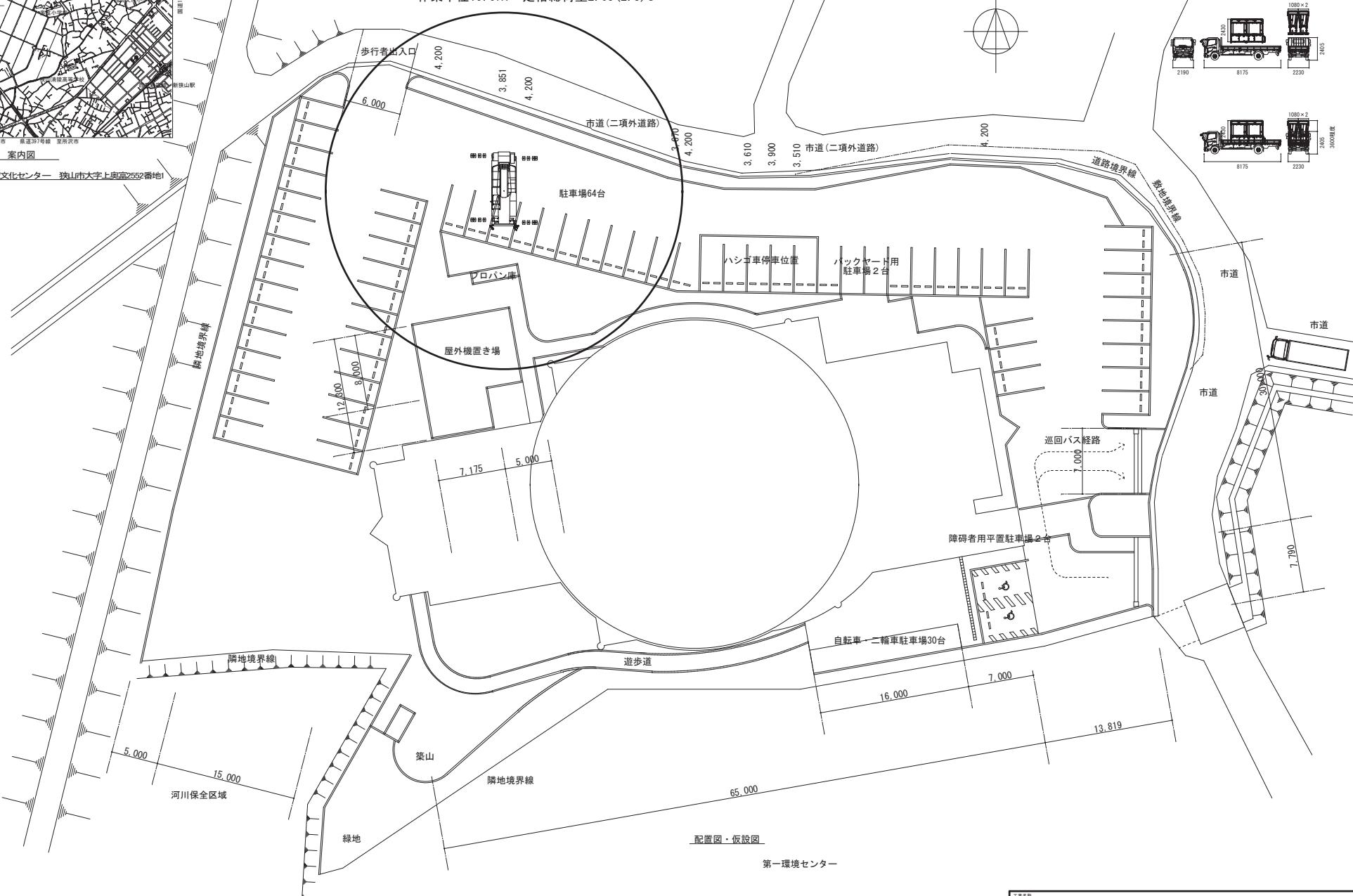
846 847

847 848

84



ラフタークレーン(ショート35t吊)作業半径参考図  
32.5mブーム 50度  
作業半径19.0m 定格総荷重2.65(2.3)t



第一環境センター

猿山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

圖面名稱 佈設圖、配置圖、案內

1000

總尺

1:200  
承認 設計

株式 永塚建築設備設計事務所 埼玉県狭山市入間川

1-8-22

承認 設計  
永 永

寒 塵

云社 小说阅读网

TEL 04 (2952) 3345

寒 寒

## 空調機器表

記号	名 称	設置場所	機器仕様	台数	備考
HP-1	空冷ヒートポンプチラー	屋外	形 式：屋外空冷ヒートポンプチラー 使用冷媒：R22 冷房能力：150 KW (外気25°C時) 暖房能力：150 KW (外気7°C時) 水量：430 L/min (30L/min, 45°C) / 台・注1 温水量：430 L/min (30L/min, 45°C) / 台・注1 電 气：3.2kW COMP 9.400kW/4 台 FAN 1.20kW/4 台 直入物動（インバーター方式） 容量制御：100~10~10 外形寸法：2400W×1800W×3400D/台 運転重量：1330kg (含品質量137kg)/台 付属品：防振装置、Yストレーナー (SUS製) アクティブフィルター (19WVA)	2	※改修対象・詳細以下 空冷ヒートポンプチラー機器更新 防振台更新 コンクリート基礎教育共使用 注1・出入温度差5°C
CH-1	冷温水一次ポンプ	1階機械室	型 式：片吸込式冷温水ポンプ (1500 RPM) 口径：60φ × 65φ 水 量：980 L/min 排 水：18 m 電 气：5.5 KW 3φ 200V 基 本：シタリ (建築工事) 防振台 (本工事)	1	※改修対象外
CH-2	冷温水二次ポンプ	1階機械室	型 式：片吸込式冷温水ポンプ (1500 RPM) 口径：60φ × 65φ 水 量：910 L/min 排 水：28 m 電 气：11.0 KW 3φ 200V 基 本：コンクリート (建築工事) 防振台 (本工事)	1	※改修対象外
AHU-1	2階多目的浴室系統空調機 (暖房専用)	1階空調機械室	型 式：機形エアーハンドリングユニット 本体附送風機 冷房能力：62.3 KW 暖房能力：54.3 KW 處理風量：54,300m³/h 送風コイル：FAN 入口室17.2°C出ロ室20°C 44KW 機外静压：30.0Pa S 3.7 KW 3φ 200V フィルター：× 加 湿：なし その他：森林浴温泉組込 外形寸法：1700W×1100H×3400D 運転重量：1370 Kg 基 本：コンクリート (建築工事) 防振台 (本工事)	1	(コイルは耐塩表面処理) ※改修対象外
AHU-2	多目的S+系統空調機	屋上空調機械室	型 式：機形エアーハンドリングユニット (送気ファン組込) 冷房能力：118.5 KW 暖房能力：69.5 KW 處理風量：54,100m³/h 送風コイル：FAN 100Pa/H 0.4.750m³/h 冷温水コイル：8列 冷温水量39 L/min (7°C~12°C) 温水量55 L/min (55°C~60°C) 冷房K.D. 372KW 17.4KW/4 KW 冷房出口：TH4.0KW SH 2.9KW/7~12°C入ロ空気26°C 温水出口：6.1°C/3.7KW/kg 暖房出口：31.2KW 12.5KW/kg S4ファン：10100m³/h×機外静压25Pa × 7.5 KW 3φ 200V M4ファン：9100m³/h×機外静压40Pa × 4.4 KW 3φ 200V フィルター：フレンザルー高効率フィルター 加 湿：水スプレー 54.5kg/h 外形寸法：2200W×2500H×2750D 運転重量：1910 Kg 基 本：コンクリート (建築工事) 防振台 (本工事)	1	※改修対象外
FCU-1	天井カセット型 ファンコイルユニット	2階大広間72帖	型 式：天井カセット型2方向吸出タイプ 建設省仕様4型 冷房能力：3.91KW 送水55~50°C入ロ空気22°C 水 量：8 L/min 送風量：560 m³/h 電動機：65VA 1φ~100V 付属品：200V×2,FJ(SUS300L)×2電動二方弁 回吹バルブ	9 (2)	※改修対象・詳細以下 2階大広間 2台更新 (展示)
FCU-2	天井カセット型 ファンコイルユニット	1階会議室×2台	型 式：天井カセット型2方向吸出タイプ 建設省仕様6型 冷房能力：TH4.0KW SH 3.0KW/7~12°C入ロ空気26°C 暖房能力：5.569KW 送水55~50°C入ロ空気22°C 水 量：12 L/min 送風量：840 m³/h 電動機：90VA 1φ~100V 付属品：200V×2,FJ(SUS300L)×2電動二方弁 回吹バルブ	16 (8)	※改修対象・詳細以下 1階ホール・エントランス 2階ホール・エントランス 3台更新 (展示)
FCU-3	天井カセット型 ファンコイルユニット	1階IT習習室 1階ラウンジドフィットネス	型 式：天井カセット型2方向吸出タイプ 建設省仕様8型 冷房能力：TH1.33KW SH 1.40KW 7~12°C入ロ空気26°C 暖房能力：7.80K 送水55~50°C入ロ空気22°C 水 量：1120 m³/h 送風量：130VA 1φ~100V 電動機：200V×2,FJ(SUS300L)×2電動二方弁 回吹バルブ	4 (1)	※改修対象・詳細以下 1階ラウンジドフィットネス室 1台更新 (展示)
FCU-4	天井カセット型 ファンコイルユニット	1階授業室倉庫	型 式：天井カセット型2方向吸出タイプ 建設省仕様2型 冷房能力：TH1.33KW SH 1.40KW 7~12°C入ロ空気26°C 暖房能力：1.94KW 送水55~50°C入ロ空気22°C 水 量：4 L/min 送風量：280 m³/h 電動機：55VA 1φ~100V 付属品：200V×2,FJ(SUS300L)×2電動二方弁 回吹バルブ	1	※改修対象外

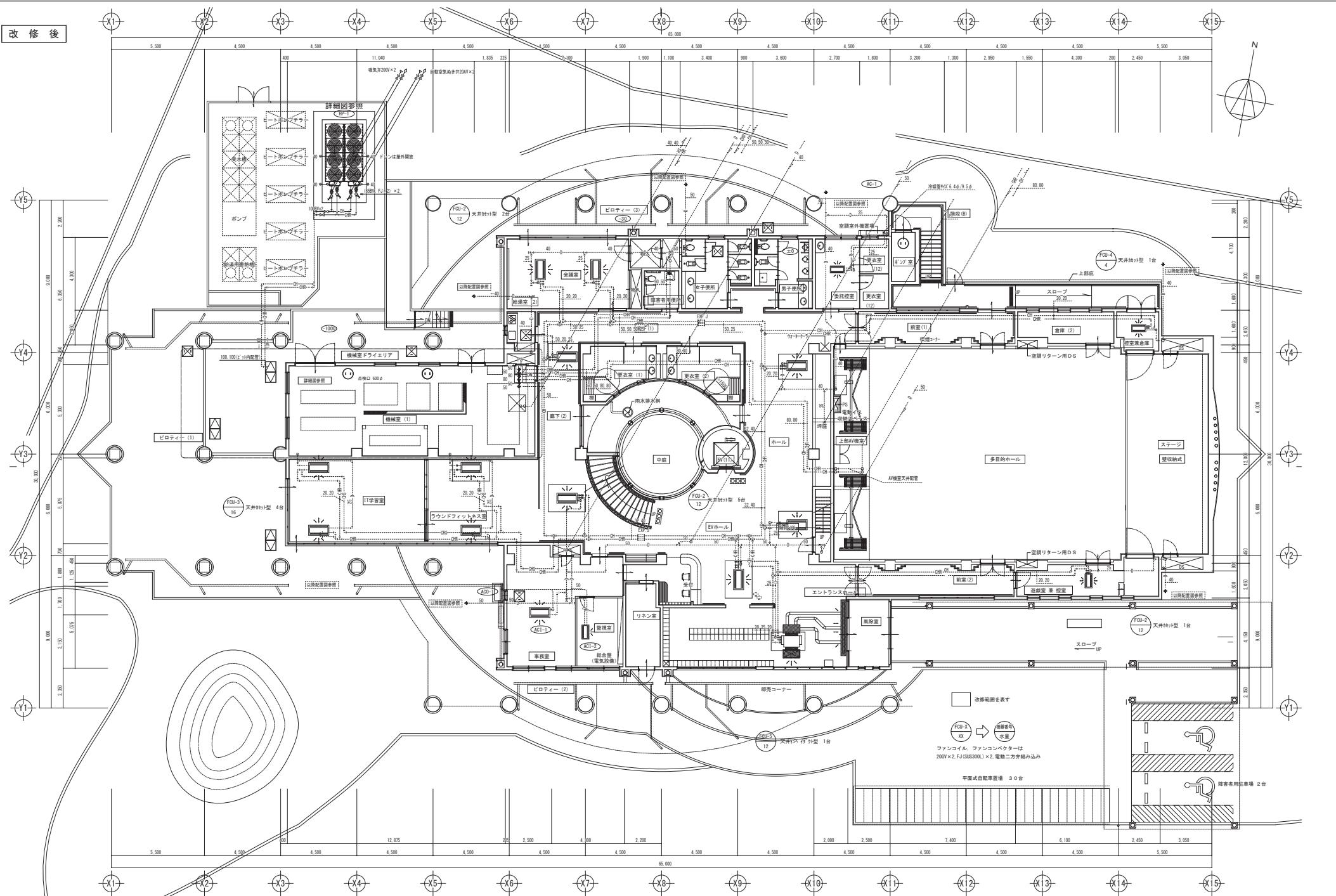
記号	名 称	設置場所	機器仕様	台数	備考
FCU-5	天井扇熱ダクト型 ファンコイルユニット	1階エントランスホール	型 式：天井扇熱ダクト型ファンコイルユニット 建設省仕様1型 冷房能力：TH1.0KW SH0.13KW 7~12°C入ロ空気26°C 暖房能力：5.889K 送水55~50°C入ロ空気22°C 水 量：840 L/min 送風量：1 (1) 電動機：200V×2,FJ(SUS300L)×2電動二方弁 付属品：	1	※改修対象・詳細以下 1階エントランスホール 機器 (フレキシブルダクト) 1台更新 (展示)
AC-1	空冷ヒートポンプ パッケージ	1階委託授業室	型 式：空冷ヒートポンプパッケージ 冷房能力：2.8 KW JIS条件の時 暖房能力：4.0 KW JIS条件の時 屋内機：室内電源 1φ 200V FAN 22 W 冷媒管 サイズ4/8~5/8 外形寸法：990×390×185H 基 本：FAN 19 W 外形寸法：800×270×450H 付属品：両吹バネル、リモコンスイッチ共 基 本：コンクリート500×100×150h2本 防振パット	1	※改修対象外
AC-2	空冷ヒートポンプ パッケージ	中2階AV機械室	型 式：天井空気取出型 冷房能力：3.8 KW JIS条件の時 暖房能力：4.5 KW JIS条件の時 屋内機：FAN 45 W 冷媒管 サイズ12.7φ (4.4 φ) 外形寸法：834×485×185H 屋外機：屋外電源 1φ 200V FAN 38 W 外形寸法：830×300×655H 附属品：リモコンスイッチ共 基 本：外壁フラット掛け合物共	1	※改修対象外
AC-1-1	空冷ヒートポンプ パッケージ室内機	1階事務室	型 式：天井カセット型2方向吸出タイプ インバーター 冷房能力：3.58 KW JIS条件の時 暖房能力：4.74 KW JIS条件の時 屋内機：室内電源 1φ 200V FAN 30 W 冷媒管 サイズ4/8~5/8 外形寸法：12.7×12.7×1.6 外形寸法：843×485×185H 附属品：両吹バネル、リモコンスイッチ共	1	※改修対象外
AC-1-2	空冷ヒートポンプ パッケージ室内機	1階事務室休憩室	型 式：天井カセット型1方向吸出タイプ インバーター 冷房能力：2.28 KW JIS条件の時 暖房能力：3.0 KW JIS条件の時 屋内機：室内電源 1φ 200V FAN 15 W 冷媒管 サイズ4.0/4.0~5/5 外形寸法：690×380×185H 附属品：両吹バネル、リモコンスイッチ共	1	※改修対象外
AC-0-1	空冷ヒートポンプ パッケージ室外機	1階事務室 休憩室系統	型 式： 冷房能力：5.86 KW JIS条件の時 暖房能力：7.61 KW JIS条件の時 屋内機：室内電源 1φ 200V COMP 1.5 kW FAN 39 W 冷媒管 サイズ4.0/4.0~5/5 外形寸法：690×380×185H 基 本：コンクリート500×100×150h2本 防振パット	1	※改修対象外

記 号	名 称	配管材料及び備考
CH	冷温水 (住) 管	配管用炭素鋼管 (白)
CHR	冷温水 (住) 管	配管用炭素鋼管 (白)
HS	温水 (住) 管	配管用炭素鋼管 (白)
HR	温水 (温) 管	配管用炭素鋼管 (白)
D	空調レ管	配管用炭素鋼管 (白)
E	空調膨脹管	配管用炭素鋼管 (白)
R	空調冷媒管	被覆钢管 (被覆厚20mm)
●	ゲート弁	JIS-5K/cm2
▲	チャッキ弁	JIS-10K/cm2
■	フレキシブル継手	ステンレス製、ゴム製 (ホースは建設省仕様による)
●	可とう継手	ステンレス製、ゴム製 (ホースは建設省仕様による)
○	外気取入ガラリ	ガラリ本体は建築工事、但しチャンバーは本工事
○	排気ガラリ	ガラリ本体は建築工事、但しチャンバーは本工事
○	スパイラルダクト	亜鉛板製 (板厚は建設省仕様による)
○	バンドキャップ	SUS製セルフード (深型)
△△	角ダクト	亜鉛板製 (板厚は建設省仕様による)
FD	防火ダムバー	建設省仕様による
VD	風量調整ダンバー	建設省仕様による
OD	逆流防止ダンバー	建設省仕様による

特記：ブルーピリのダクトは塗ビコートイングとする。



### 改修後



1階平面図 1:100

狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

圖面名稱 改修後 空調設備配管 1 段平面圖

總尺 年. 月. 日

修改后 三调数据配图 | 第十章

1 : 100 R 07. 11  
承認 設計 因番

株式会社 永塚建築設備設計事務所 埼玉県狭山市入間川  
TEL 04 (2952)

市入間川 1-8-22  
(2952) 3345

11. *What is the primary purpose of the following statement?*

1000

## 改修後

中2階AV機械室平面図 1:100

2階平面図 1:100

工事名称 猪山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

圖面名稱 改修後 空調設備配管 3 樓平面圖

縮尺	年.月.日
----	-------

修改後 五調改編配器之唱上面圖

1 : 100 R 07. 11

株式会社 永塚建築設備設計事務所 埼玉県狭山市入間川  
TEL 04 (2952)

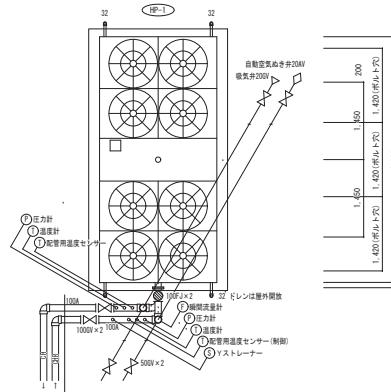
市入間川 1-8-22  
(2952) 3345

水  
煤

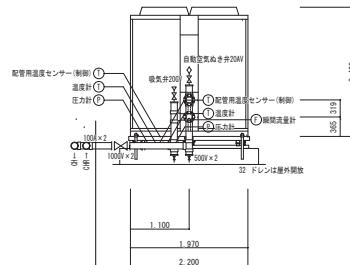
---

## REFERENCES

改修前



以降 現状維持・再接続・再利用---以降 配管・配管付属品・チラー機器は撤去



以降 現状維持・再接続・再利用---以降 配管・配管付属品・チラー機器は撤去

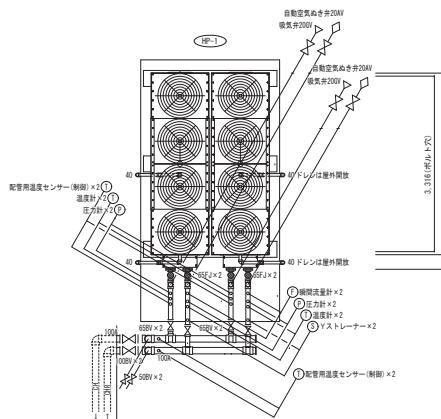
屋外機詳細図 1:50

\*機器（防振架台共）撤去とする。

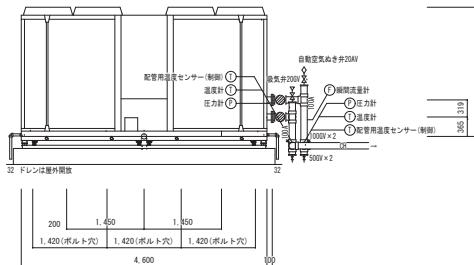
\*配管及び付属品は図示から機器まで撤去とする。

\*コンクリート基礎は上部モルタル補修のうえ現状維持・再使用とする。

改修後



以降 現状維持・再接続・再利用---以降 配管・配管付属品・チラー機器は新設



以降 現状維持・再接続・再利用---以降 配管・配管付属品・チラー機器は撤去

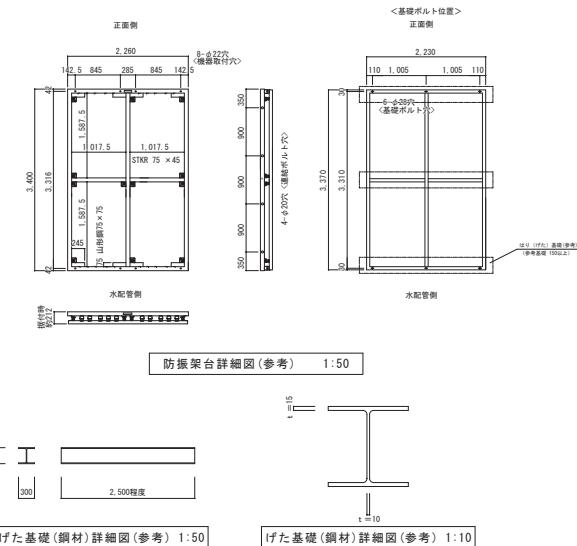
屋外機詳細図 1:50

\*機器（防振架台共）新設とする。

\*配管及び付属品は図示から機器まで新設とする。

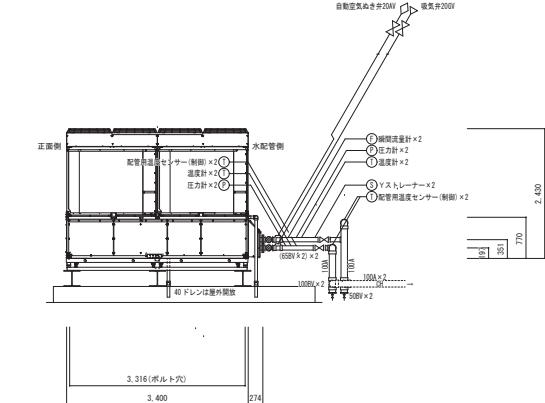
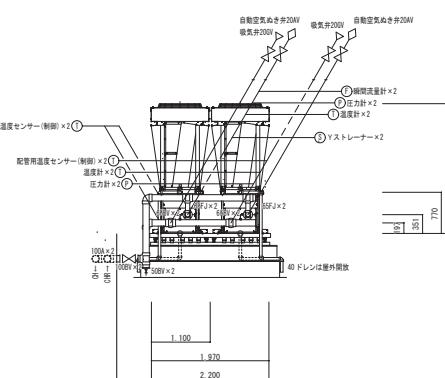
\*コンクリート基礎は上部モルタル補修のうえ既存再使用とする。

(機器ドレン配管、計装配線に伴い、げた基礎を追加する。)



げた基礎(鋼材)詳細図(参考) 1:50

げた基礎(鋼材)詳細図(参考) 1:10



屋外機詳細図 1:50

工事名 称 狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

図面名 称 改修前・後 空調設備詳細図

縮尺 1:100 年 月 日 8.07.11

株式 会社 永塚建築設備設計事務所

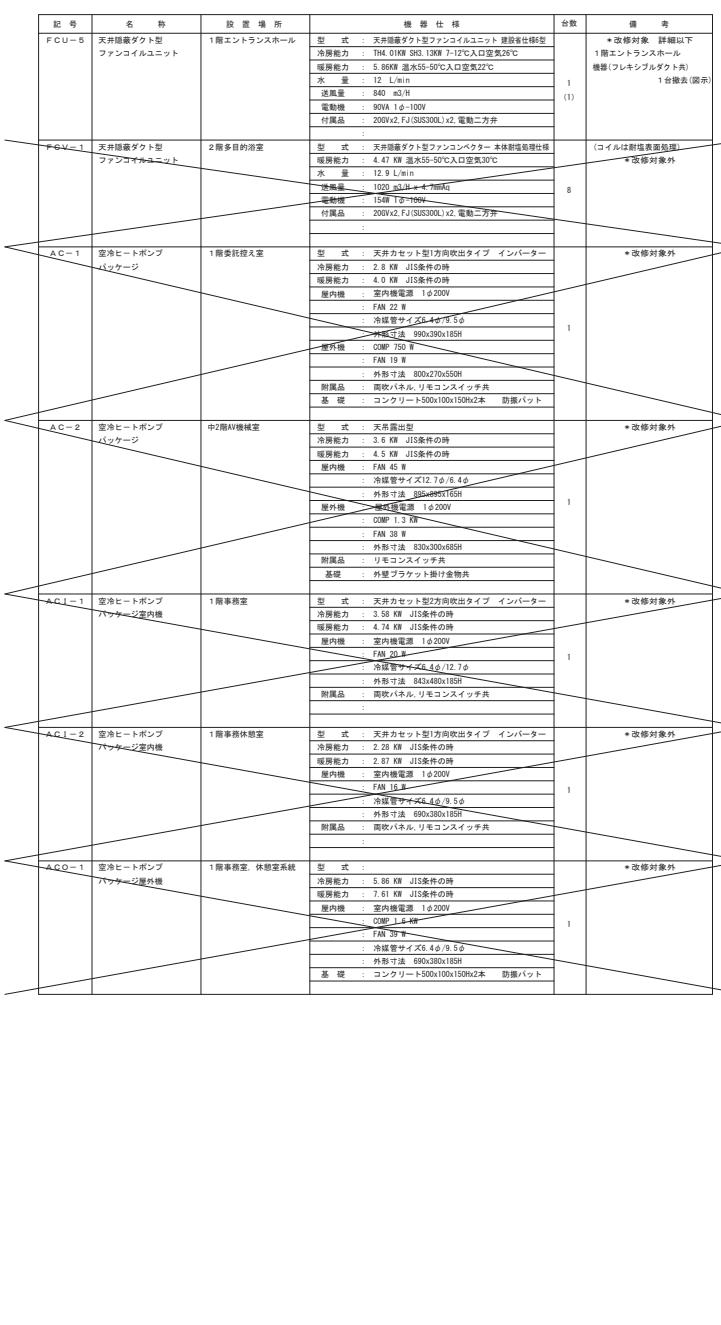
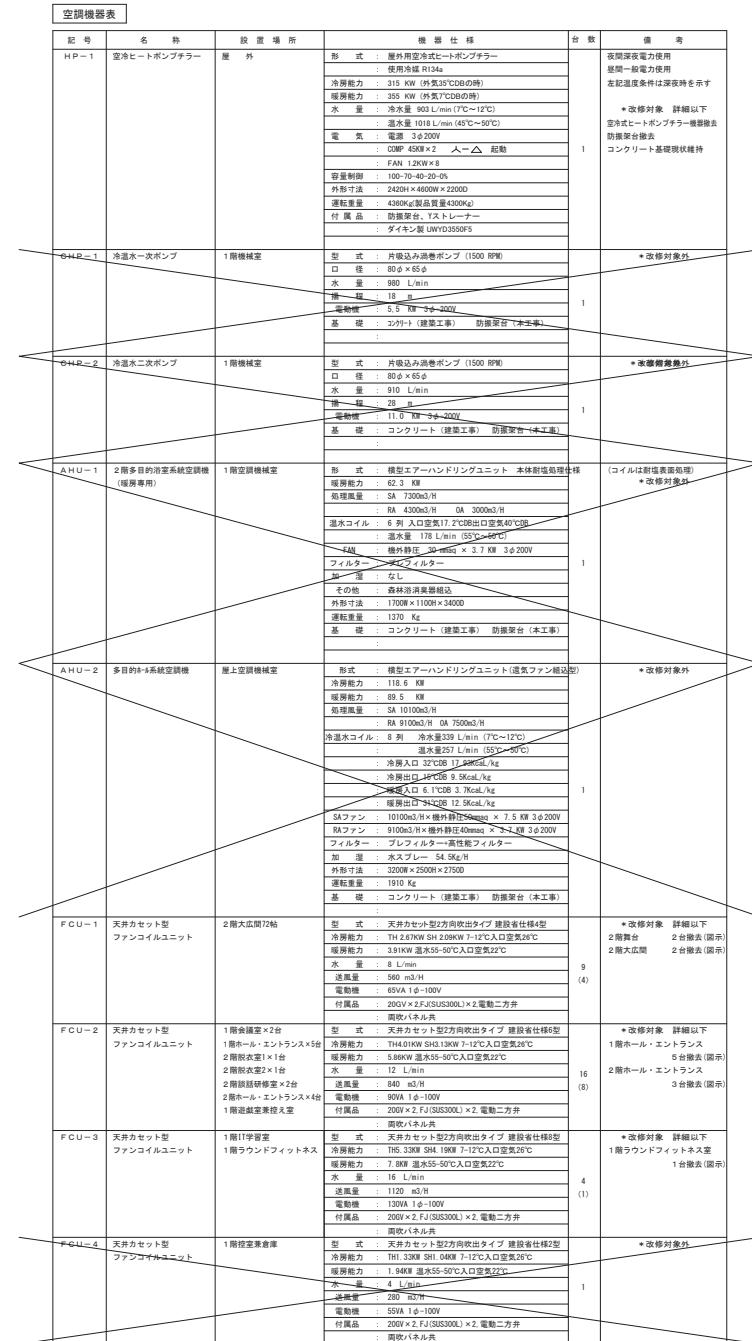
埼玉県狭山市入間川 I-8-22 T E L 04 (2952) 3345

規格 金額

規格 金額

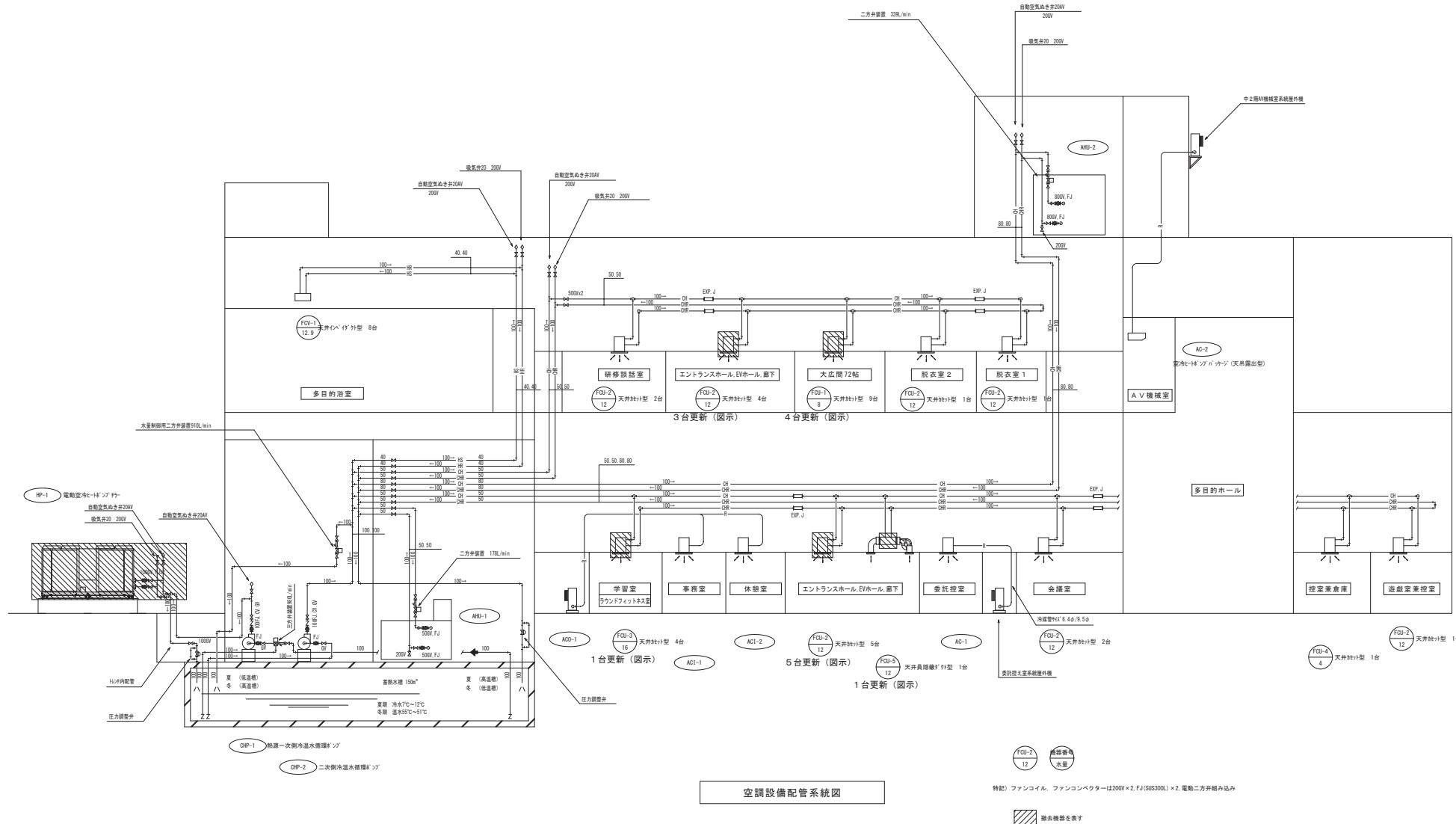
M-09

改修前



特記: ブールダクトは塗ビコートイングとする。

改修前



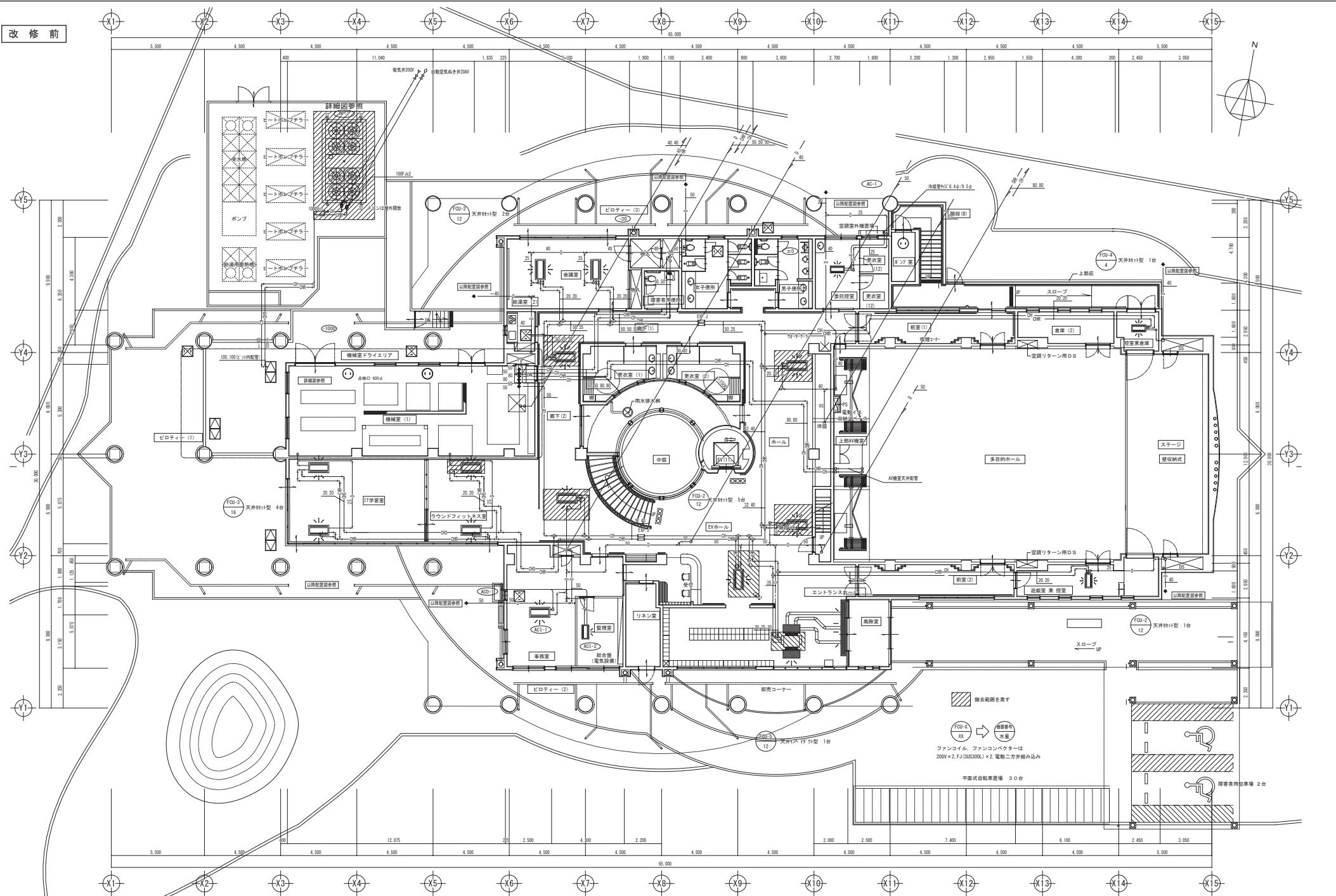
## 空調設備配管系統図

特記) ファンコイル、ファンコンベクターは20GV×2、FJ(SUS300L)×2、電動二方弁組み込み

 撤去機器を表す

工事名	狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事		
調査名	改修前 空調設備配管系統図	縮尺	年.月.日 8.07.11
株式 会社	永塚建築設備設計事務所	埼玉県狹山市入間川 1-8-22 TEL 04 (2952) 3345	承認 用印 設計 用印 監修 用印
			M-1 1

### 改修前



1階平面図 1:100

狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

圖面名稱 改修前 空調設備配管 1 段平面圖

總尺 年. 月. 日

株式会社建築船舶機器計画室 横浜市狹山市入間川

1-8-22 承認 設計 因番

会社 小塚建築設備設計事務所 TEL 04 (2952)

345 煤 煤 M-12



既 存

### 換気用制気リスト

## 空調用制気リスト

□ 工事対象機器を示す

工事名称 独山市民健康文化中心 空調設備等改修工事

福岡市市民健

100

總尺

第二章 人物小傳

株式会社 永塚建築設

2) 3345

水經

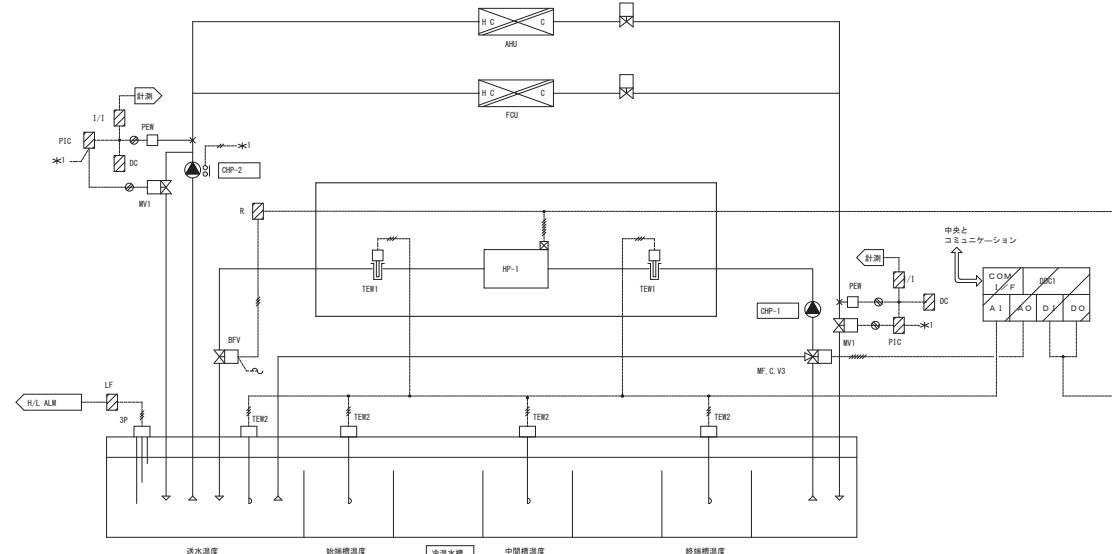
既存

□ 工事対象範囲を示す。自動制御機器の更新及び制御配線取外し・再接続を行う。完了後、自動制御設備の全体試運転調整を行う事

1 熱源回り制御

1set

&lt;空調&gt;



## 制御項目 (参考)

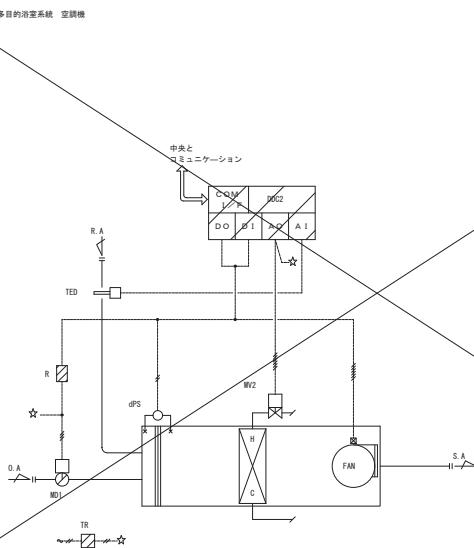
- 夜間蓄熱運転制御  
夜間に蓄熱が完了するまで熱源機器の運転を行う。
- 時間帯負荷追従運転制御  
昼間に蓄熱量が不足すると判断した場合、熱源機器の追従運転を行う。
- ピーカット制御  
「ピーカ時間調整契約」の時間帯は熱源機器の停止を行う。
- 設備入口温度による3方弁制御  
熱源機器の入口温度により、熱源入口3方弁の比例制御を行う。
- 2次ポンプ出注方式によるバイパス2方弁の比例制御  
吐出能力により、バイパス2方弁の比例制御を行う。
- 送管圧力制御  
送管圧力による2方弁の比例制御を行う。
- 電報機によるレベル監視
- 中央制御システムとの連絡  
(免停・監視・設定・計測)

2 空調器制御 (1)

1set

&lt;空調&gt;

&lt;空調&gt;



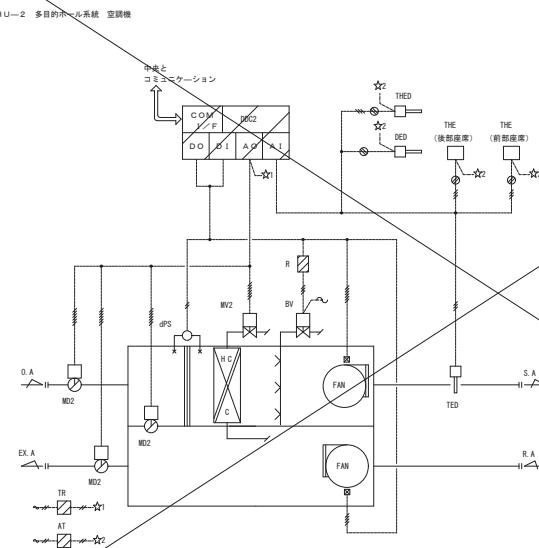
## 制御項目

- 送気温度制御  
送気温度による冷水コイル2方弁の比例制御を行う。  
但し、夏期は制御を止めし、送風運転を行う。
- ウォーミングアップ制御  
空調機立ち上がり時、外気ダクバを閉とし予熱運転を行う。
- ファンルーム目詰り警報
- 空調機停止時のインターロック制御  
(対象: 2方弁・ダンパー)
- 中央監視システムとの連絡  
(免停・監視・設定・計測)

3 空調器制御 (2)

1set

&lt;空調&gt;



- 室内温度制御  
受用室は後部座席温度により冷水コイル2方弁の比例制御を行う。  
但し、後部座席温度の温度が下限値になった際は、後部座席の設定値を1°C上げる。  
冬期は前部座席温度により冷水コイル2方弁の比例制御を行う。  
但し、後部座席温度の温度が上限値になった際は、前部座席の設定値を1°C下げる。
- 室内湿度制御  
冬期、後部座席湿度により加湿2方弁のON/OFF制御を行う。  
但し、夏期は制御を中止する。
- 外気冷房制御  
外気と室内とのエンタルピー比較により外気冷房有効と判断された時、受用室により各ダンパーの比例制御を行う。
- 給気量上下限設定制御
- ウォーミングアップ制御  
空調機立ち上がり時、外気・排気ダンバを閉とし、予冷・予熱運転を行う。
- ファンルーム目詰り警報
- 空調機停止時のインターロック制御  
(対象: 2方弁・ダンパー)
- 中央監視システムとの連絡  
(免停・監視・設定・計測)

工事名稱 狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

調査名稱 自動制御系統図

縮尺 1:100 年 月 日 8.07.11

株式会社 永塚建築設備設計事務所

埼玉県狭山市入間川 1-8-22 TEL 04 (2952) 3345

面積 会員

面積 会員

M-15

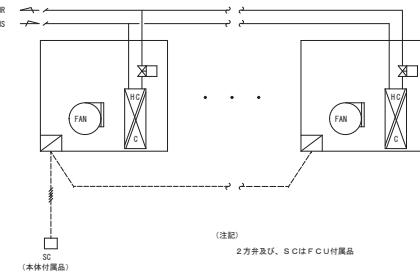
既存

工事対象範囲を示す。制御配線取外し・再接続を行う。完了後、自動制御設備の全体試運転調整を行う事

## 4 ファンコイルユニットスイッチ配線工事

&lt;空調&gt;

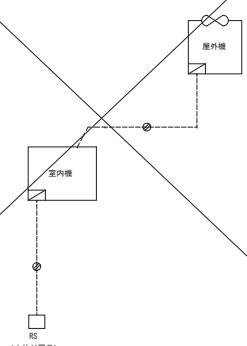
規	機 器名	台 数	備 考
1	FOU-3-16 × 2	学習室	
	FOU-2-16 × 2	学習室	
	FOU-2-12 × 1	会議室	
	FOU-2-12 × 1	会議室	
	FOU-2-12 × 2	ホール	
	FOU-2-12 × 2	ホール	
	FOU-2-12 × 1	エントランスホール	
	FOU-2-12 × 1	エントランスホール	
	FOU-4-4 × 1	授業実習室	
	FOU-2-12 × 1	授業実習室	
2	FOU-2-12 × 1	脱衣室 (1)	
	FOU-2-12 × 1	研修室	
	FOU-2-12 × 1	会議室	
	FOU-2-12 × 2	EVホール	SC 1F 事務室設置
	FOU-2-12 × 2	EVホール	SC 1F 事務室設置
	FOU-1-8 × 3	大広間	
	FOU-1-8 × 3	大広間	
	FOU-1-8 × 2	大広間	
	FOU-1-8 × 1	大広間	



## 6 パッケージスイッチ配線工事

&lt;空調&gt;

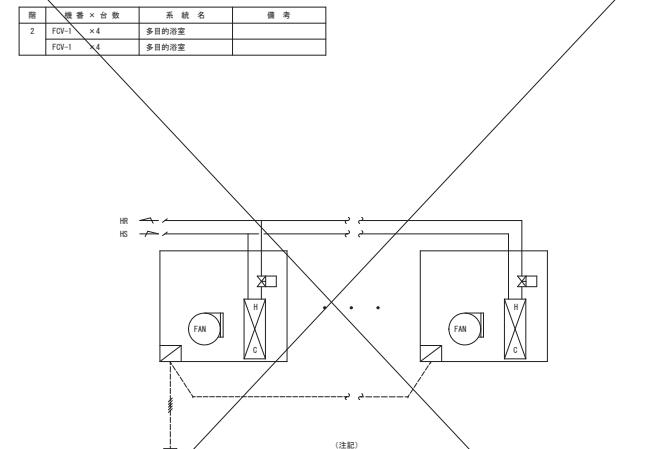
規	機 器名	台 数	系 統 名	備 考
1	AC-1	× 1	委託授室	
	AC-1-1	× 1	事務室	
	AC-1-2	× 1	事務室休憩室	
中2	AC-2	× 1	AV収蔵室	



## 5 ファンコイルベクタースイッチ配線工事

&lt;空調&gt;

規	機 器名	台 数	系 統 名	備 考
2	FOV-1	× 4	多目的浴室	
	FOV-1	× 4	多目的浴室	

(注記)  
2方弁及び、SCはFCU付属品

## 自動制御機器表

記 号	名 称	形 番	備 考
AT	トランジ	ATY72Z	
B/F	電動1/4タップ弁	VT69	
BV	小型電動2方ボール弁	VT6202A	水用、スプリングリターン
C	弁リミッケージ	Q45C	
DC	D C 2 4 V 電源	RT7910D	
DDC1	蓄熱熱コントローラ	WT2000R	
DDC2	デジタル式調節器	WT7211	
DED	露点温度検査器	HT7911A	高分子素子
dPS	差圧センサ	PY-YCL13	
I/I	アソシレータ	RT7910S	
LF	液面リレー/電極棒	WL5211B/3P	付属品含む
MD1	ダクトバッフル	WT6940	
MD2	ダクト操作器/補助ボテンショ	WT6040-WY9000	
MF	モジュールローラモータ	WT604F	
MV2	電動2方弁	WT510A/B	
MV1	電動2方弁	HC8	
PEW	圧力差検査器	JT6	コンデンサー付
PIC	圧力指示計	R31	
R	補助リレー	23	
TED	温度検出器	WT7800C	Pt100Ω
TER	温度検出器	WT8301A	Pt100Ω、配線10m
TER1	温度検出器	WT7830B/015	Pt100Ω、R3/4
THE	温度差検出器	WT7021TP	Pt100Ω、高分子素子
THED	温度差発信器	WT7811C	Pt100Ω、高分子素子
TR	トランクス	AT72-J1	
V3	3方弁	WT505A	

更新

## バルブプロダクツ表

液体 W2:水(2方弁)、W3:水(3方弁)							
単位 液体W2、W3:流量[ ]l/s、△P[ ]kPa							
系 統 名	液 体	流 量	P I	△P	C V	口径 (A)	備 考
熱源入口温度制御弁	W3	980		0.3	125.2	100	
2次ポンプ圧力制御弁	W2	910		2.8	38.1	40	
運転圧力制御弁	W2	910		1.5	52	50	
落水防止弁	W2					100	
A H U-1	温水制御弁	W2	178		0.3	22.7	40x32
A H U-2	冷水制御弁	W2	339		0.3	43.3	50
A H U-2	加温制御弁	W2					20

## 盤寸法表

盤 名	形 状	参考寸法			取扱系統名	備 考
		W	H	D		
C P - 1 - 1	自立	2100	1950	400		熱源運び制御
C P - R - 1	自立	700	1950	400		A H U-2

## 凡例

- 1 V 2 □ (斜線は本数)
- AC 100V or 200V
- ファンインターロック
- シールド付ケーブル
- 現場盤内取付機器
- △ 監視盤との接続端子渡し

工事名稱 狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

調査名稱 自動制御系統図・機器表

規格 1:100  
年 月 日 R 07.11

株式会社 永塚建築設備設計事務所 埼玉県狹山市人間川 I-8-22

TEL 04 (2952) 3345 郵便番号 350-0046

M-16

既 存

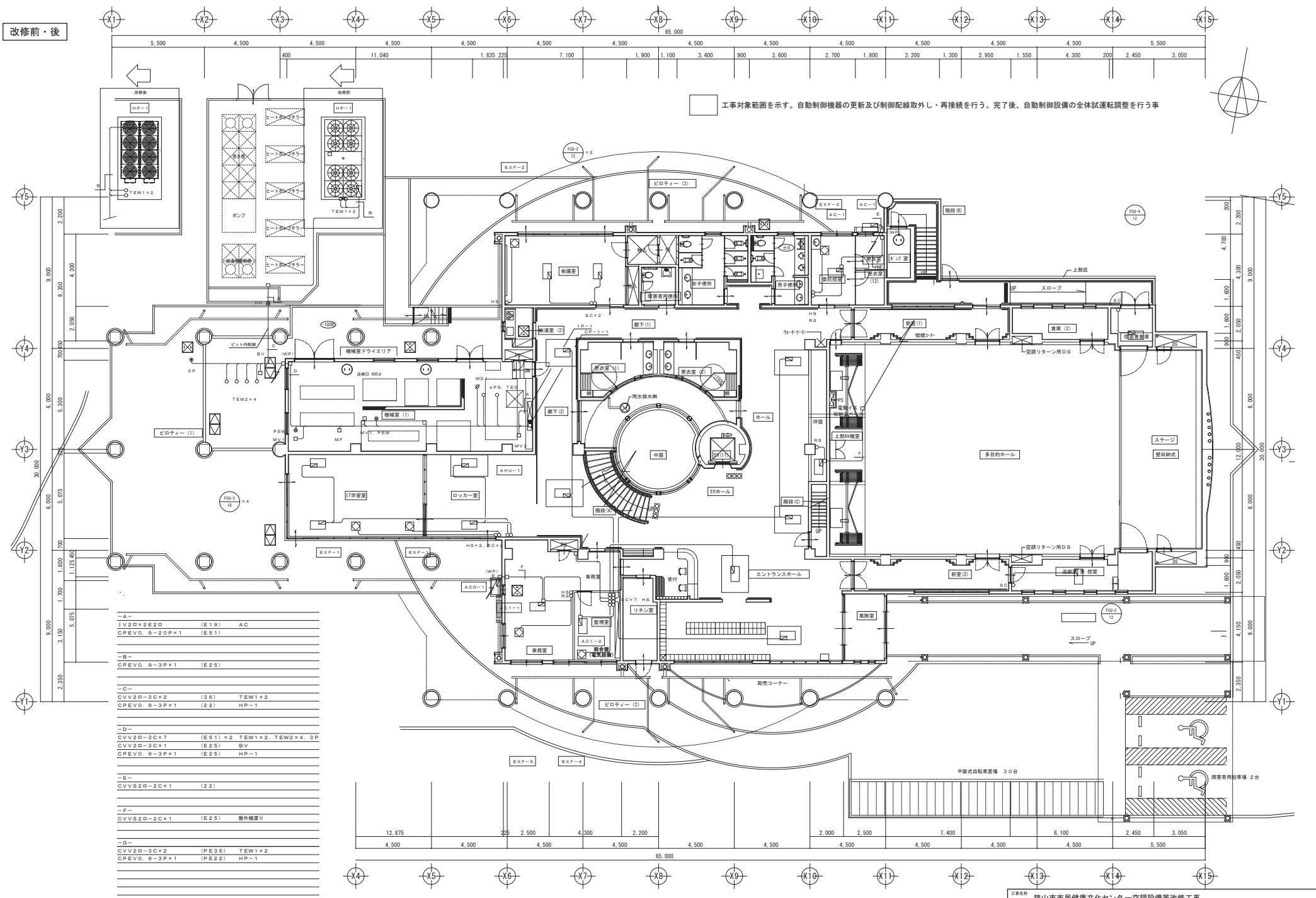
□ 工事対象範囲を示す。完了後、自動制御設備の全体試運転調整を行う。

### 中央管理点入出力一覧表

〈空調〉

注) COS故障: 中央監視からの指令と現場の運転状態が異なった時に発報する。  
(エラーバー、トリップ故障の場合は主警報)

(重複運転、トリップ故障の場合も登録)



1階平面図 1:100

狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

圖例名稱 改修前・後 自動制御 1 階平面圖

尺 年 月 日

株式会社建築設計機器販賣所

承認 設計 因番

会社 小塚建築設計事務所 TEL 04 (2952)

45 烟 烟 M-1

### 改修前・後

2階平面図 1:100

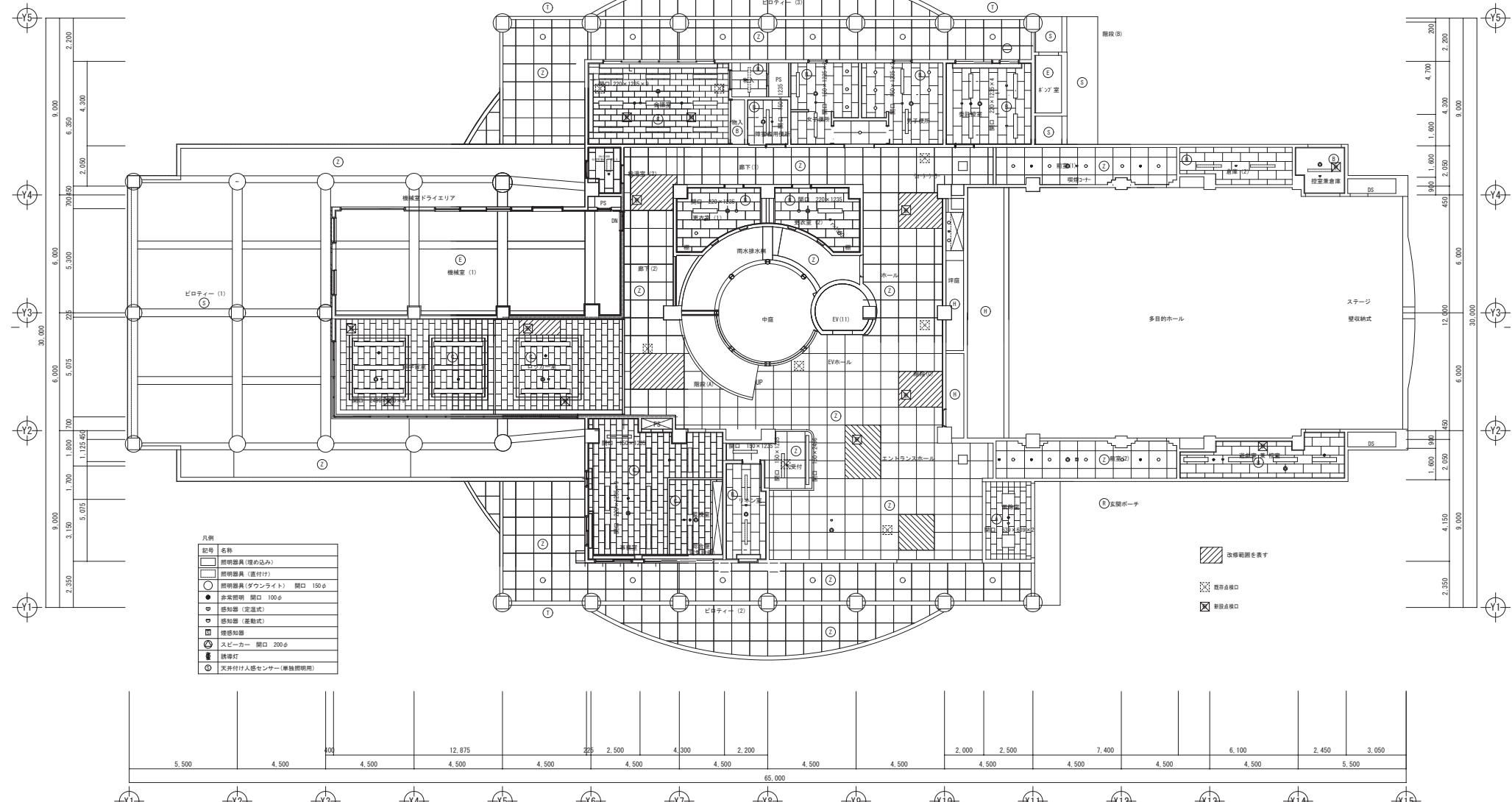
工事名称	狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事		
図面名称	改修前・後 自動制御2階平面図	縮尺 1:100	年 月 日 R 07. 11
株式 会社	永塚建築設備設計事務所	確認 系 統 機 器	設計 系 統 機 器

改修前・後

X1	X2	X3	X4	X5	X6	X7	X8	X9	X10	X11	X12	X13	X14	X15
5.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	4.500	5.500

記号	天井仕上	記号	天井仕上
①	石膏ボード/19.5 ロックワール吸音板/15 キューブ付き	④	コンクリート打放
⑤	化粧石膏ボード/19.5	⑦	有孔珪藻土板/18.0 AEP プラスワール/140 壁貼り
⑥	石膏ボード/19.5 ロックワール吸音板/19.0	⑧	硬質塩ビバスパネル(薄不燃)
⑨	石膏ボード/18.0 ピニルクロス(杉目目調)	⑩	硬質塗装ビスパネル
⑩	グラスカーブル 成型版 ガラスクロス色み/150 ピン押工	⑪	***欠番***
⑪	***欠番***	⑫	***欠番***
⑫	珪藻土板/18.0 AEP	⑬	シナ合板/15.5
⑬	***欠番***	⑭	

記号	天井仕上	記号	天井仕上
①	***欠番***	④	***欠番***
⑤	珪藻土板/16.0 突付け目地シーリング EP漆喰仕上	⑧	***欠番***
⑥	石膏ボード/19.5 ロックワール吸音板/15	⑨	板
⑦	アルミスパンボーレ	⑩	スパンボーレ
⑩	コンクリート打放地板の上アクリルリンシ化付	⑪	珪藻土板/16.0 AEP
⑪	FB透鏡カッキワレタンエナメル塗装	⑫	鋼面漆喰仕上/112
⑫	スブルス貼り/12	⑬	耐湿岩綿吸音板



1階平面図 1:100

工事名稱 狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

図面名稱 改修前・後 1階天井図

縮尺 1:100 年 月 日 8.07.11

株式会社 永塚建築設備設計事務所

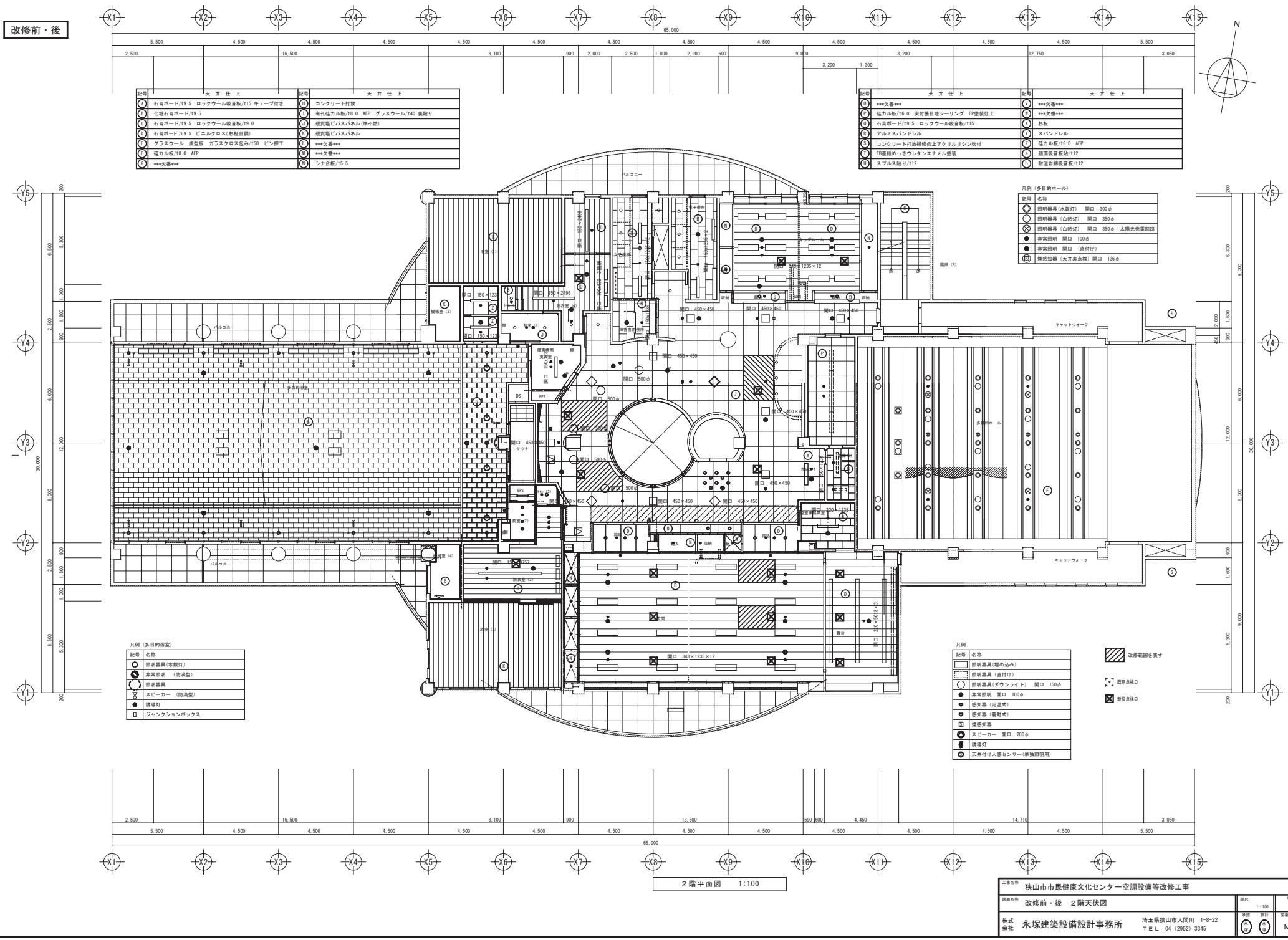
埼玉県狭山市入間川 I-8-22

TEL 04 (2952) 3345

面積 100m<sup>2</sup>面積 20m<sup>2</sup>

M-20

改修前・後



# 電気設備工事特記仕様書

1 工事概要  
 1.1 工事名 狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事  
 1.2 工事場所 埼玉県狭山市大字下奥富2552番地1  
 1.3 工期 約日から令和8年8月31日まで  
 現場施工期間 令和年月日から令和年月日まで  
 現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。  
 1.4 工事科目(○印の付いたもの適用する)

電気設備	テレビ共同受信設備
○ 動力設備	テレビ電波障害防除設備
電熱設備	監視カメラ設備
雷保護設備	駐車場管制設備
受変電設備	防犯、入退室管理設備
電力貯蔵設備	自動火災報知設備
発電設備	自動閉鎖設備
構内情報通信網設備	ガス漏れ火災警報設備
構内交換設備	電話配管設備
情報表示設備	○ 中央監視制御設備
映像・音響設備	医療関係設備
拡声設備(非常放送設備)	昇降機設備
誘導支援、呼出し設備	

1.5 指定部分 ○無・有(工期:令和年月日)

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)  
 1 専任期間の始期  
 請負契約締結の日から、(現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間・令和年月日までの期間)については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。  
 2 専任期間の終期  
 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。  
 3 専任期間の中止  
 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要  
 狹山市市民健康文化センター RC造 地上2階

1.8 工事概要  
 空調設備改修工事に伴う電気設備工事

1.9 同時期発注の関連工事 ○建築工事 ○機械設備工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様

(1)この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という)、国土交通省大臣官房官舎部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(以下「標準仕様書等」という)、及び監督員の指示に従い施工する。

なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2)機械設備工事及び建築工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3)法令・基準・仕様書等は、原則として施工工事において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様(特記事項の選択項目は、○印のついたもののがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印・※印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承認を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調査の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づく特定調達品目該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日にに関する法律(S63第91号)に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが※できる。・できない
5 足場・さんばし類	※別途契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で・設ける(規模)※設けない
7 保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン※適用する・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。
10 発生材処理	引渡しを要するもの以外は構外に搬出しお、適切に処理する。 (機外搬出処理費は、※本工事・別途) (1)引渡しを要するもの( ) (2)買取処分をするもの(銅屑・鉄屑 ) (3)再生資源化を図るもの(蛍光管 ) 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4)特別管理産業廃棄物( ) ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

11 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。																																												
12 鍵	盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。																																												
13 地中電線路	(1)管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table border="1" data-bbox="1079 258 1508 348"> <thead> <tr> <th>敷き均し土</th> <th>管種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良質土</td> <td>硬質ビニル電線管(VE) 耐衝撃性塩化ビニル管(HIVE) 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)</td> </tr> </tbody> </table>	敷き均し土	管種別	良質土	硬質ビニル電線管(VE) 耐衝撃性塩化ビニル管(HIVE) 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)																																								
敷き均し土	管種別																																												
良質土	硬質ビニル電線管(VE) 耐衝撃性塩化ビニル管(HIVE) 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)																																												
14 回路の種別 行先の表示	(2)地中電線路には、ケーブル埋設及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路には、ケーブル埋設及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路には、ケーブル埋設及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路には、ケーブル埋設及び標識シートを設ける。																																												
15 電線の接続	温水の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をてもよい。ただし、接続はボックス内とする。																																												
16 電線管の接続	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したうじなし工法としてもよい。																																												
17 接地工事	漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地極は、混触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・赤色で区別する。																																												
18 建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。																																												
19 再生砂・再生碎石 再生アスコン使用	再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に・使用できる。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1体の六角クロム溶出試験を行い土壤の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。																																												
20 耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。 設計用標準水平震度 <table border="1" data-bbox="1079 1066 1508 1291"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>・特定の施設</th> <th>・一般的な施設</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>屋上及び塔屋</td> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類(※1)</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類(※1)</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>地下・1階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類(※1)</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	機器種別	・特定の施設	・一般的な施設			重要機器	一般機器	上層階	機 器	2.0	1.5	屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0		水 槽 類(※1)	2.0	1.5	中間階	機 器	1.5	1.0		防振支持の機器	1.5	1.5		水 槽 類(※1)	1.5	1.0	地下・1階	機 器	1.0	0.6		防振支持の機器	1.0	1.0		水 槽 類(※1)	1.5	1.0
設置場所	機器種別	・特定の施設	・一般的な施設																																										
		重要機器	一般機器																																										
上層階	機 器	2.0	1.5																																										
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0																																										
	水 槽 類(※1)	2.0	1.5																																										
中間階	機 器	1.5	1.0																																										
	防振支持の機器	1.5	1.5																																										
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0																																										
地下・1階	機 器	1.0	0.6																																										
	防振支持の機器	1.0	1.0																																										
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0																																										
【備考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。 重機器 ・配電盤・発電装置(防災用)・直流電源装置・交流無停電電源装置 ・交換機・火災報知器受信機・中央監視装置・太陽光発電装置 上層階の定義は次による。 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。																																													
21 あと施工アンカー	(2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承認を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うことを。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。																																												
22 はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に示す箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。																																												
23 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場※脚立足場 (2) 外部足場※A種(検査足場)・B種・C種・D種・E種・F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」で、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。																																												
24 墜落防止用器具(フルハーネス型)	※使用を要する 墜落防止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付基発0622第2号)による ・使用を要しない																																												

25 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建築調査により実施し、アスベスト使用有無に問わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。	
26 その他	(1)施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承認を受ける。 (2)本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承認後製作する。 (3)本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承認後施工する。 (4)本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 (5)特記なき機器・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は紫外線性能を有するものとする。 (6)改修工事を施工する場合、施工する前に工事対象箇所の写真撮影を行ふ。また、既設ケーブル等は施工後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 (7)受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 (8)本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 (9)特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では校舎運営に支障を與えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (10)工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。	
2.4 取付高さ 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。		
名 称	測 点	取付高さ (mm)
スイッチ(一般)	床上～中心	一般 県営住宅 1,300 1,200
〃(身体障害者用)	〃	1,100 1,000
〃(感覚センサー切換用)	〃	2,000 2,000
コンセント、電話用アダプタ、直列ユニット(一般)	〃	300 400
〃(和室)	〃	150 200
〃(台上)	台上～中心	150 500
防水型コンセント	床上～中心	500 500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下)1,500 (上端1,900以下)1,500
呼出ボタン(身体障害者用)	〃	900 900
復帰ボタン(〃)	〃	1,800 1,800
廊下表示灯(〃)	〃	2,000 2,000
端子盤	〃	(上端1,900以下)1,500 2,000

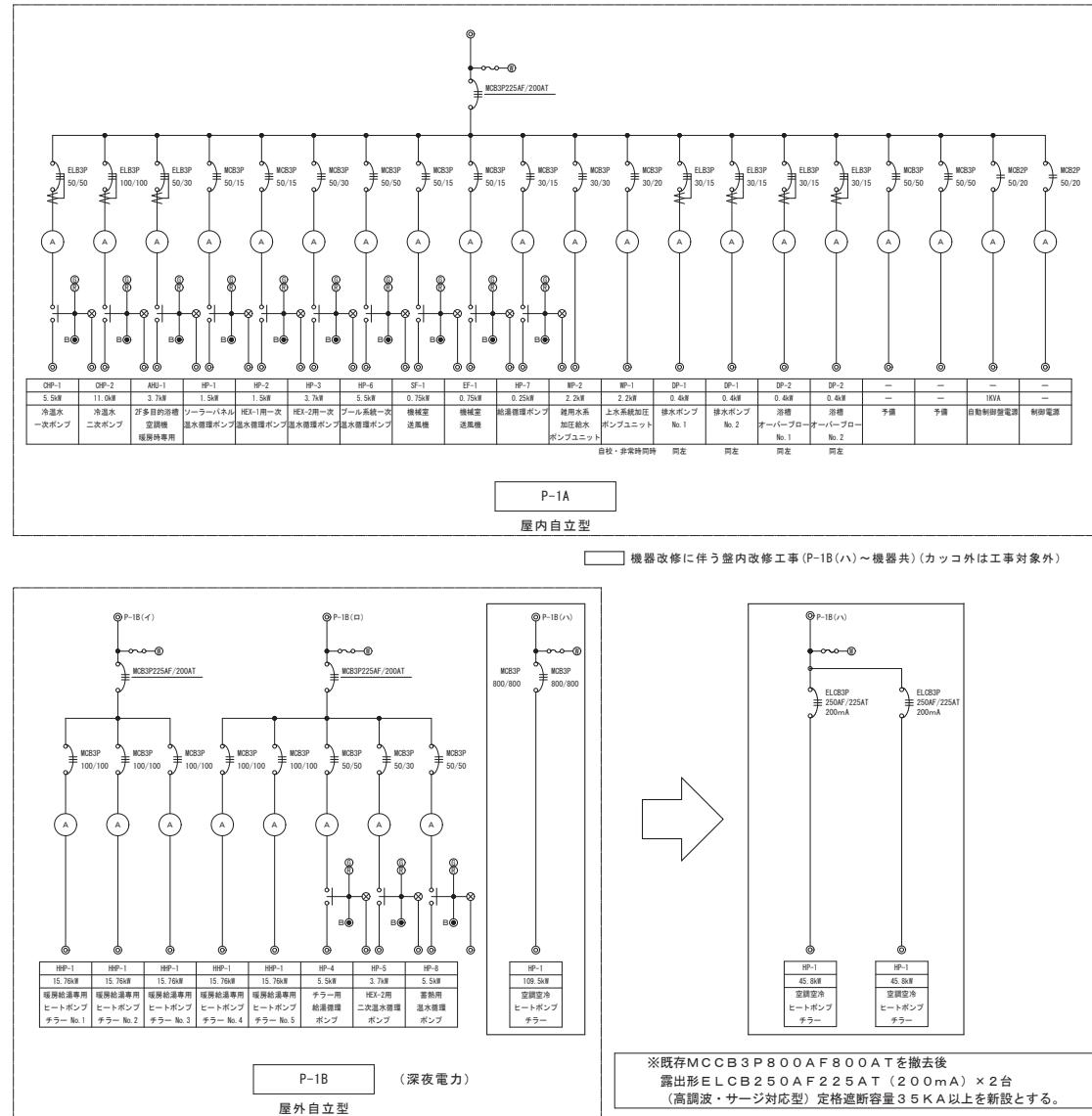
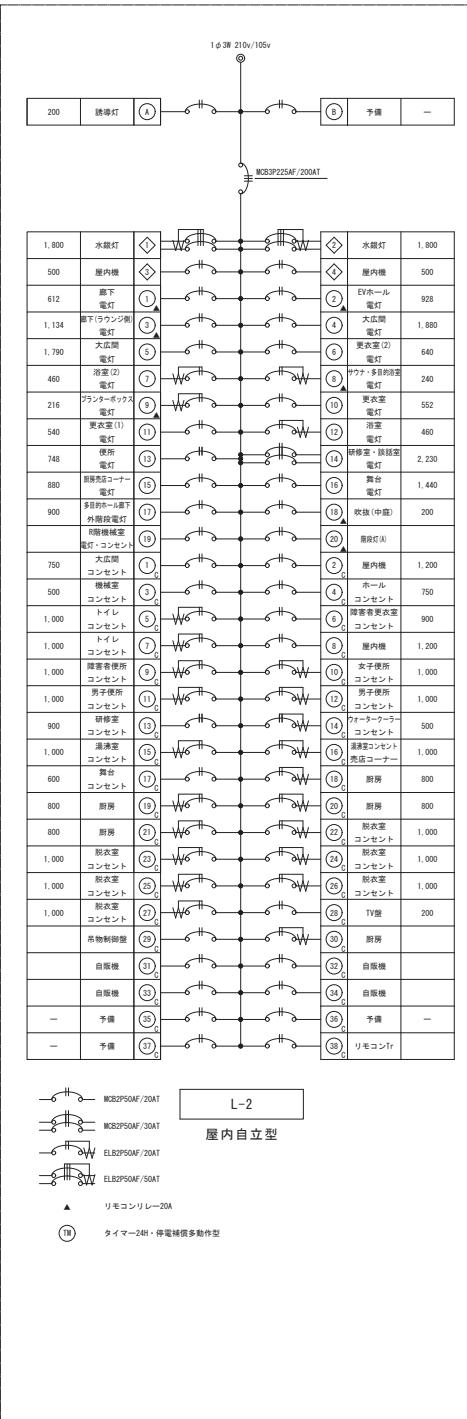
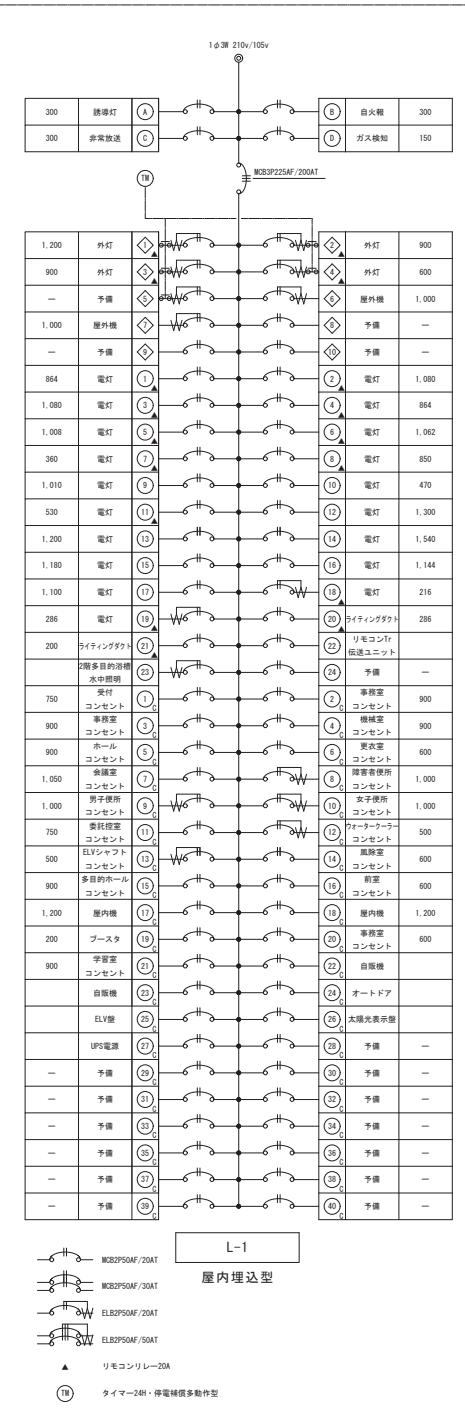
項目	特記事項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備	(1)所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2)総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3)ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官舎部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。	

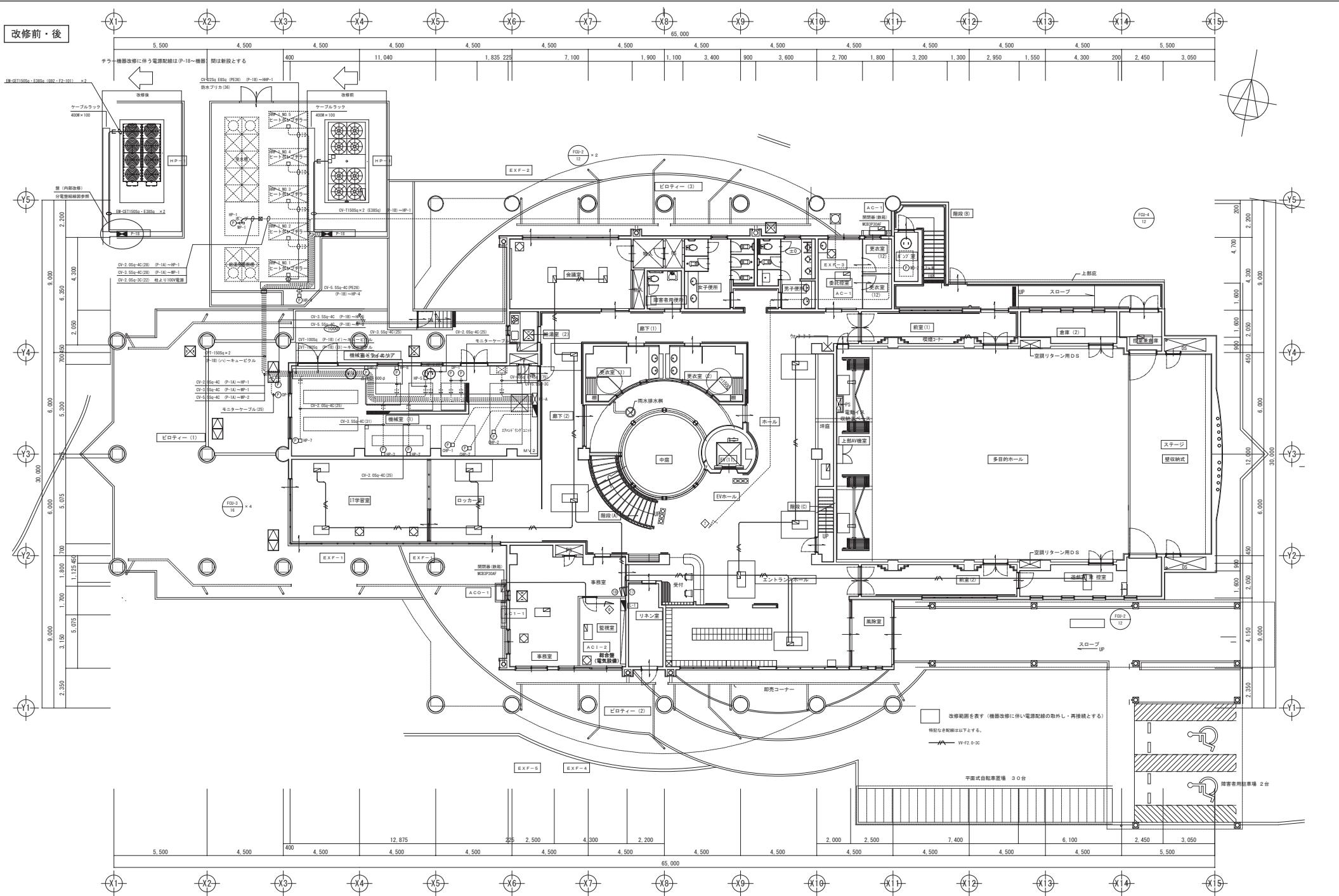
<tbl\_r cells="2

<p>環境配慮 (グリーン) 改修工事</p>	<p>1 アスベスト処理工事 一般共通事項</p> <p>留意事項</p> <p>1 本事工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。</p> <p>2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。</p> <p>3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官房工務部整修公共建築改修工事標準仕様書「建築工事編」(令和4年版)、以下「改修仕事」という)及び「建築物の解体等に係る右線は露反止及び右線無段漏えい防止対策徹底マニュアル」(令和3年3月 厚生労働省・環境省)による。</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1]</p> <p>分析対象</p> <p>・行う(下表による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法 (1材あたりの試料数: 3サンプル)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 定性分析</td> <td>・定量分析</td> </tr> </tbody> </table> <p>採取箇所 ※ 図示</p> <p>※ アスベスト 6 種類(アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト)</p> <p>調査方法・分析方法</p> <p>※ JIS A 1481「規格群(1481-1, 2, 3, 4)」「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。</p> <p>分析結果については、監督員に提出すること。</p> <p>2 アスベスト含有分析 調査</p> <p>4 7BA*1付含有吹付け材の撤去 (レベル1) アスベスト含有吹付け材の撤去 [9.1.3]</p> <p>・行う 撤去方法は9.1.3による他、撤去の部位・内容に応じた撤去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>撤去方法及び汚物処理等 専門工事業者による方法 米袋封締(二重袋封締) 両端接着に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行ふ。</p> <p>・セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 *</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 7BA*1付含有保温材等の撤去 (レベル2) アスベスト含有保温材の撤去 [9.1.4]</p> <p>・行う 作業上の隔離 作業上の隔離 ・行う ・行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 *</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 7BA*1付含有成形板等の撤去 (レベル3) 1 アスベスト含有成形板等の撤去 [9.1.5]</p> <p>・行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>---</td> <td>※ 図示 *</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 非石綿部での切断による撤去 ・行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 石綿接着ダクト接合部(石綿含有パッキン無)</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材付記管</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有配管フランジパッキン</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (耐熱性成形部の場合は)</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 施工区間端部又は 敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、石綿含有保温材付記管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を認めるものとする。</p> <p>&lt;参考&gt;石綿使用有無の事前調査フロー</p> <pre>     graph TD     A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査"] --&gt; B["可能性なし"]     B --&gt; C["(2) 現場目視による調査 目視調査(建材の確認)"]     C --&gt; D["可能性あり・不明"]     D --&gt; E["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"]     E --&gt; F["石綿含有とみなす"]     E --&gt; G["石綿含有0.1%を超えていると判断"]     E --&gt; H["石綿含有0.1%以下と判断"]     F --&gt; I["石綿使用あり・届出要件確認・届出"]     G --&gt; J["石綿使用なし"]   </pre> <p>3 アスベスト粉じん 濃度測定</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 ・行う(測定名及び測定期点は下表による) [9.1.1]</p> <p>測定箇所 ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測 定</th> <th>測定名</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定期数 (各処理作業箇所)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1~4</td> <td>1~4</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業室内 施工区間端又は 敷地境界</td> <td>※各2点・各3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5~8</td> <td>5~8</td> <td>測定 2</td> <td></td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9~12</td> <td>9~12</td> <td>測定 3</td> <td></td> <td>各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13~16</td> <td>13~16</td> <td>測定 4</td> <td></td> <td>各1点</td> <td>空気の流れ を確認</td> </tr> <tr> <td>17~20</td> <td>17~20</td> <td>測定 5</td> <td></td> <td>各1点</td> <td>床じん装置 の仕様確認</td> </tr> <tr> <td>21~24</td> <td>21~24</td> <td>測定 6</td> <td></td> <td>各1点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25~28</td> <td>25~28</td> <td>測定 7</td> <td></td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29~32</td> <td>29~32</td> <td>測定 8</td> <td></td> <td>各1点</td> <td>(耐熱性成形部の場合は)</td> </tr> <tr> <td>33~36</td> <td>33~36</td> <td>測定 9</td> <td></td> <td>各2点</td> <td>4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>37~40</td> <td>37~40</td> <td>測定 10</td> <td></td> <td>各2点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>41~44</td> <td>41~44</td> <td>測定 11</td> <td></td> <td>各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の維継状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡及び光吸収法による測定法」の「6.2 比重差・分散顕微鏡法」による。</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差・分散顕微鏡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サンプリングの直徑</td> <td>25 mm</td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトシートアセチレーフ法又は、シュウ酸ジエチル法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直徑(幅) 3 <math>\mu</math>m 未満、長さ 5 <math>\mu</math>m 以上、長さと直徑比 3:1 以上の維継状物質</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定置限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </tbody> </table> <p>報告書の作成(記録する項目)</p> <p>ア 测定結果</p> <p>イ 测定時間</p> <p>ウ 测定位置(測定高さとともに図面上に記載)</p> <p>エ サンプリング条件(サンプリング直徑、吸引時間、吸引空気量)</p> <p>オ マウンティング方法</p> <p>カ 顕微鏡視野数、計数視野数</p> <p>キ 测定時(各測定場所ごとの)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真</p>	材 料 名	調査方法 (1材あたりの試料数: 3サンプル)	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	※ 定性分析	・定量分析	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図			※ 図示 *							材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図			※ 図示 *							材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図	---	※ 図示 *		材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図	・ 石綿接着ダクト接合部(石綿含有パッキン無)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ 石綿含有保温材付記管	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ (耐熱性成形部の場合は)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ 施工区間端部又は 敷地境界	4方向各1点		測 定	測定名	測定時期	測定場所	測定期数 (各処理作業箇所)	備考	1~4	1~4	測定 1	処理作業室内 施工区間端又は 敷地境界	※各2点・各3点		5~8	5~8	測定 2		各2点		9~12	9~12	測定 3		各1点		13~16	13~16	測定 4		各1点	空気の流れ を確認	17~20	17~20	測定 5		各1点	床じん装置 の仕様確認	21~24	21~24	測定 6		各1点		25~28	25~28	測定 7		各2点		29~32	29~32	測定 8		各1点	(耐熱性成形部の場合は)	33~36	33~36	測定 9		各2点	4方向各1点	37~40	37~40	測定 10		各2点		41~44	41~44	測定 11		各1点		測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5	計数機器	位相差・分散顕微鏡		サンプリングの直徑	25 mm	47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトシートアセチレーフ法又は、シュウ酸ジエチル法		計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		計数アスベスト	直徑(幅) 3 $\mu$ m 未満、長さ 5 $\mu$ m 以上、長さと直徑比 3:1 以上の維継状物質		定置限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	<p>4 7BA*1付含有吹付け材の撤去 (レベル1) アスベスト含有吹付け材の撤去 [9.1.3]</p> <p>・行う 撤去方法は9.1.3による他、撤去の部位・内容に応じた撤去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>撤去方法及び汚物処理等 専門工事業者による方法 米袋封締(二重袋封締) 両端接着に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行ふ。</p> <p>・セメント固化 処理を行う吹付けアスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 *</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 7BA*1付含有保温材等の撤去 (レベル2) アスベスト含有保温材の撤去 [9.1.4]</p> <p>・行う 作業上の隔離 作業上の隔離 ・行う ・行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示 *</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>6 7BA*1付含有成形板等の撤去 (レベル3) 1 アスベスト含有成形板等の撤去 [9.1.5]</p> <p>・行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名 (製品名)</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>---</td> <td>※ 図示 *</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 非石綿部での切断による撤去 ・行う 処理を行うアスベスト含有物の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>含有するアスベストの種類</th> <th>処 理 を 行 う 総 図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 石綿接着ダクト接合部(石綿含有パッキン無)</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有保温材付記管</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石綿含有配管フランジパッキン</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ (耐熱性成形部の場合は)</td> <td>※ 図示 ◎撤去範囲すべて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 施工区間端部又は 敷地境界</td> <td>4方向各1点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお、石綿含有保温材付記管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を認めるものとする。</p> <p>&lt;参考&gt;石綿使用有無の事前調査フロー</p> <pre>     graph TD     A["(1) 設計図書による調査 ① 施工年による調査 ② 使用建築材料による調査"] --&gt; B["可能性なし"]     B --&gt; C["(2) 現場目視による調査 目視調査(建材の確認)"]     C --&gt; D["可能性あり・不明"]     D --&gt; E["(3) 分析調査による判定 JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"]     E --&gt; F["石綿含有とみなす"]     E --&gt; G["石綿含有0.1%を超えていると判断"]     E --&gt; H["石綿含有0.1%以下と判断"]     F --&gt; I["石綿使用あり・届出要件確認・届出"]     G --&gt; J["石綿使用なし"]   </pre>	材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図			※ 図示 *							材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図			※ 図示 *							材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図	---	※ 図示 *		材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図	・ 石綿接着ダクト接合部(石綿含有パッキン無)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ 石綿含有保温材付記管	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ (耐熱性成形部の場合は)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて		・ 施工区間端部又は 敷地境界	4方向各1点																			
	材 料 名	調査方法 (1材あたりの試料数: 3サンプル)																																																																																																																																																																																																																																		
	※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																																		
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																																			
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																																			
※ 定性分析	・定量分析																																																																																																																																																																																																																																			
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																		
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																		
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
・ 石綿接着ダクト接合部(石綿含有パッキン無)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ 石綿含有保温材付記管	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ (耐熱性成形部の場合は)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ 施工区間端部又は 敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																																																																																			
測 定	測定名	測定時期	測定場所	測定期数 (各処理作業箇所)	備考																																																																																																																																																																																																																															
1~4	1~4	測定 1	処理作業室内 施工区間端又は 敷地境界	※各2点・各3点																																																																																																																																																																																																																																
5~8	5~8	測定 2		各2点																																																																																																																																																																																																																																
9~12	9~12	測定 3		各1点																																																																																																																																																																																																																																
13~16	13~16	測定 4		各1点	空気の流れ を確認																																																																																																																																																																																																																															
17~20	17~20	測定 5		各1点	床じん装置 の仕様確認																																																																																																																																																																																																																															
21~24	21~24	測定 6		各1点																																																																																																																																																																																																																																
25~28	25~28	測定 7		各2点																																																																																																																																																																																																																																
29~32	29~32	測定 8		各1点	(耐熱性成形部の場合は)																																																																																																																																																																																																																															
33~36	33~36	測定 9		各2点	4方向各1点																																																																																																																																																																																																																															
37~40	37~40	測定 10		各2点																																																																																																																																																																																																																																
41~44	41~44	測定 11		各1点																																																																																																																																																																																																																																
測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定 5																																																																																																																																																																																																																																		
計数機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																																																			
サンプリングの直徑	25 mm	47 mm																																																																																																																																																																																																																																		
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																																																																																																																	
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																																																																																																																																																																	
試料の透明化	アセトシートアセチレーフ法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																																																																																																																																																																			
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																																																																																																																																			
計数アスベスト	直徑(幅) 3 $\mu$ m 未満、長さ 5 $\mu$ m 以上、長さと直徑比 3:1 以上の維継状物質																																																																																																																																																																																																																																			
定置限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																																																																																																																	
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																		
材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																		
材 料 名 (製品名)	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
---	※ 図示 *																																																																																																																																																																																																																																			
材 料 名	含有するアスベストの種類	処 理 を 行 う 総 図																																																																																																																																																																																																																																		
・ 石綿接着ダクト接合部(石綿含有パッキン無)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ 石綿含有保温材付記管	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ (耐熱性成形部の場合は)	※ 図示 ◎撤去範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																			
・ 施工区間端部又は 敷地境界	4方向各1点																																																																																																																																																																																																																																			

既 存



※既存MCCB3P800AF800ATを撤去後  
露出形ELCB250AF225AT(200mA)×2台  
(高波・サーボ対応型)定格遮断容量35KA以上を新設とする。



1階平面図 1:100

工事名称 狹山市市民健康文化センター空調設備等改修工事

國名稱 改修前・後 空調電源設備 1 階平面圖

收存前·後 由弱而強·由強而弱·由強而弱

株式会社 永塚建築設備設計事務所

11. *What is the primary purpose of the following statement?*

1 : 100 R 07. 11

3-22 永 賀 永 賀 E-04

11. *Leucosia* (Leucosia) *leucosia* (Linnaeus)

